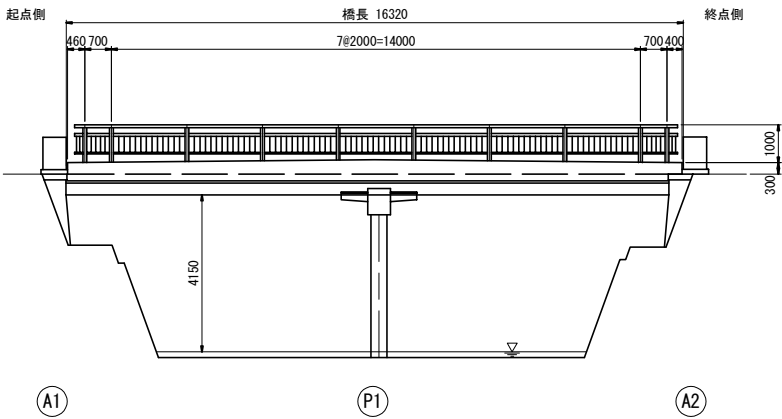


藤ノ森橋他2橋補修工事 図面目次

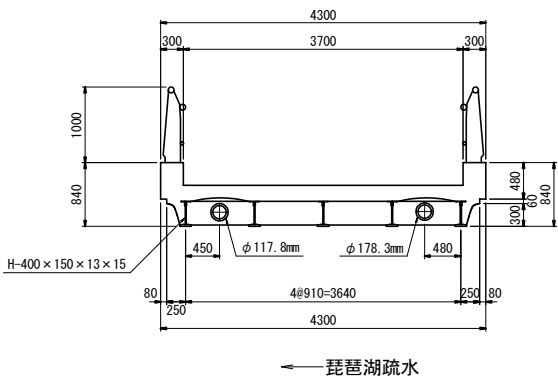
図 面 名	図面番号	枚数	備考
藤ノ森橋 橋 梁 一 般 図	1	1	
藤ノ森橋 補 修 一 般 図	2	1	
藤ノ森橋 補 修 工 図 (1)	3	1	橋梁塗装工
藤ノ森橋 補 修 工 図 (2)	4	1	断面修復工(1)
藤ノ森橋 補 修 工 図 (3)	5	1	断面修復工(2)
藤ノ森橋 補 修 工 図 (4)	6	1	橋脚部復旧工・橋座部復旧工
藤ノ森橋 足 場 工 図 (参 考 図)	7	1	
新谷口橋 橋 梁 一 般 図	8	1	
新谷口橋 補 修 一 般 図	9	1	
新谷口橋 補 修 工 図 (1)	10	1	ひび割れ補修工・断面修復工(1)
新谷口橋 補 修 工 図 (2)	11	1	ひび割れ補修工・断面修復工(2)
新谷口橋 補 修 工 図 (3)	12	1	橋梁塗装工
新谷口橋 補 修 工 図 (4)	13	1	当て板補修工・横リブ再設置工・既設部材撤去工
新谷口橋 補 修 工 図 (5)	14	1	橋面防水工・舗装打換え工・水抜きパイプ設置工・止水工
新谷口橋 補 修 工 図 (6)	15	1	特殊ブロック設置工
新谷口橋 補 修 工 図 (7)	16	1	縁石嵩上げ工・歩車道境界コンクリート復旧工・区画線復旧工
新谷口橋 補 修 工 図 (8)	17	1	高欄取替え工：既設高欄撤去
新谷口橋 補 修 工 図 (9)	18	1	高欄取替え工：高欄組立
新谷口橋 足 場 工 図 (参 考 図)	19	1	
見附橋 橋 梁 一 般 図	20	1	
見附橋 補 修 一 般 図	21	1	
見附橋 補 修 工 図 (1)	22	1	断面修復工
見附橋 補 修 工 図 (2)	23	1	橋梁塗装工
見附橋 補 修 工 図 (3)	24	1	当て板補修工・端部主桁巻立て工・旧水道管撤去工
見附橋 足 場 工 図 (参 考 図)	25	1	

藤ノ森橋 橋梁一般図

側面図 S=1:100

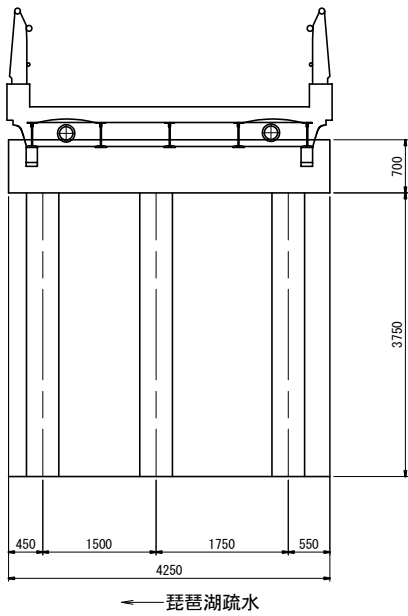


断面図 S=1:50

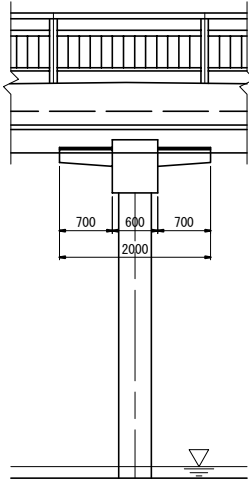


P1橋脚 S=1:50

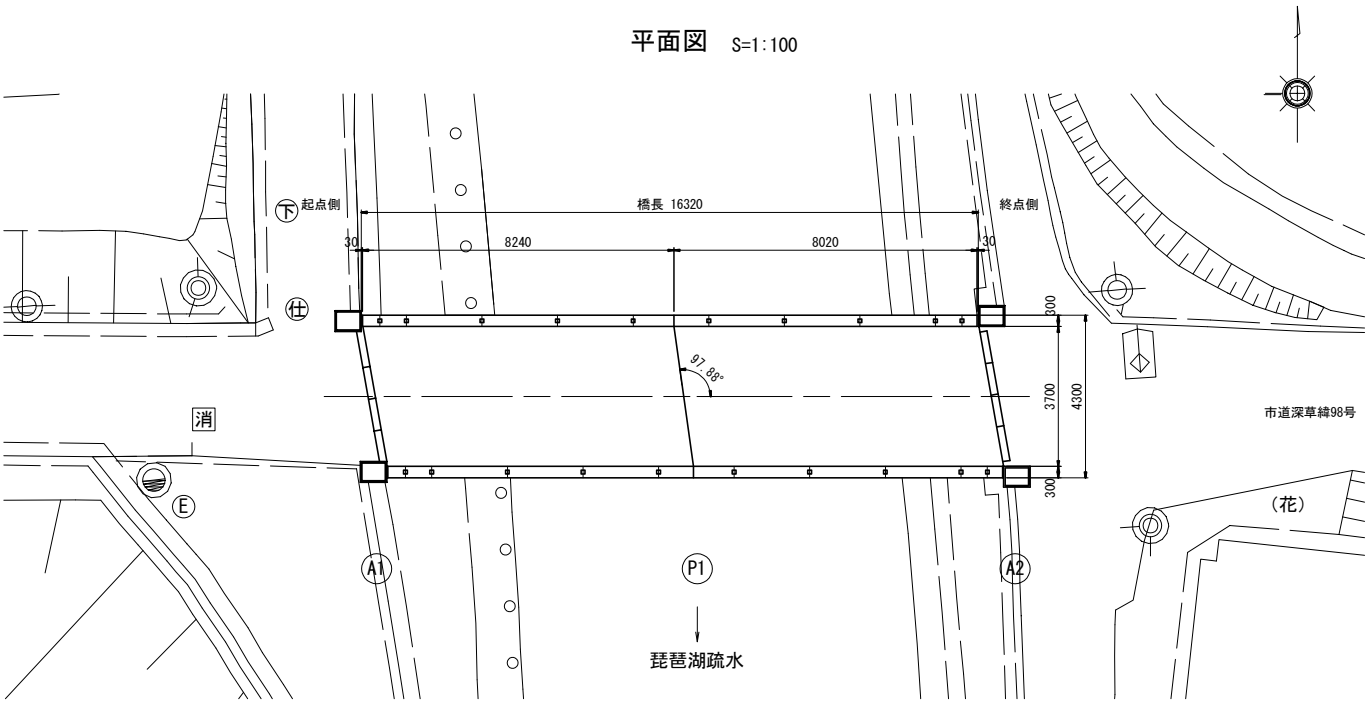
正面図



側面図



平面図 S=1:100

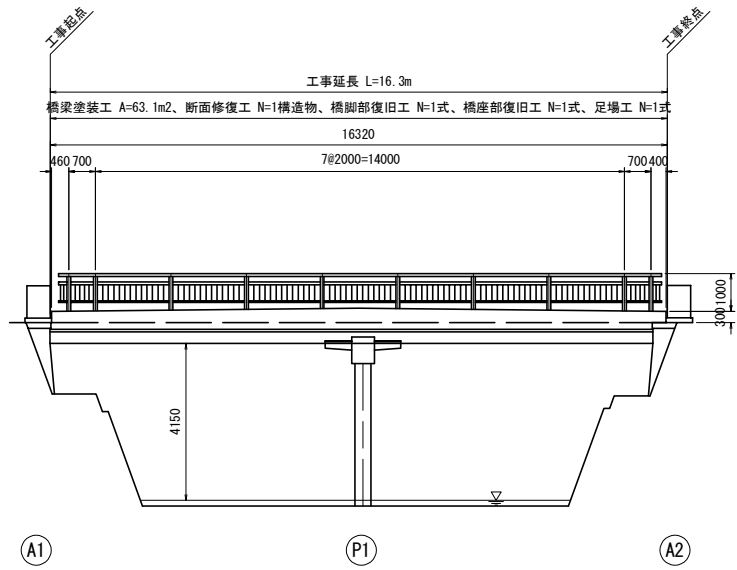


設 計 条 件	
橋 長	16.320m
有 効 幅 員	3.700m
全 幅 員	4.300m
斜 角	98°
舗 装	コンクリート舗装
上 部 工 形 式	単純SRC桁橋(2連)
下 部 工 形 式	橋台：不明 橋脚：パイルベント橋脚
基 礎 形 式	橋台：不明、橋脚：杭基礎
竣 工 年 月	大正14年(1925年) 99年経過

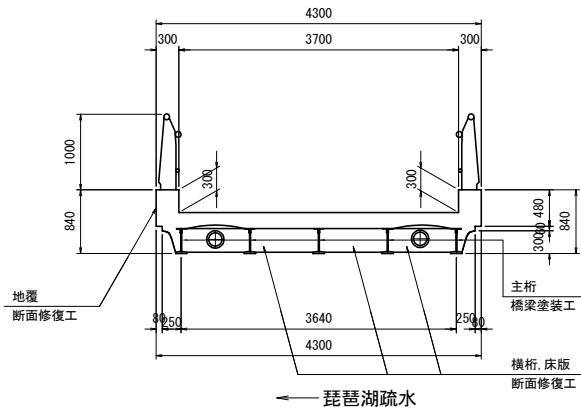
工 事 名	藤ノ森橋他2橋補工事		
工事場所	京都市伏見区直達橋南1丁目他地内		
図 面 名	藤ノ森橋 橋梁一般図		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	1 / 25
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

藤ノ森橋 補修工一般図

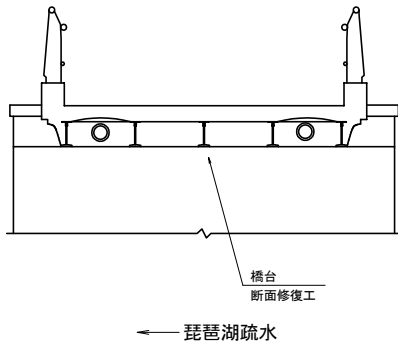
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50

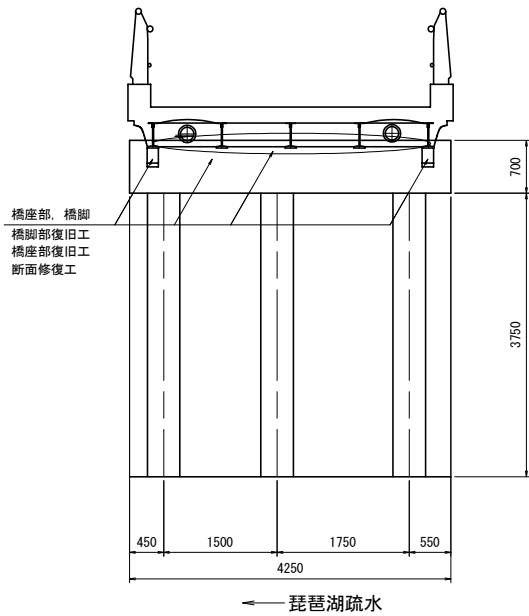


A1橋台 S=1:50

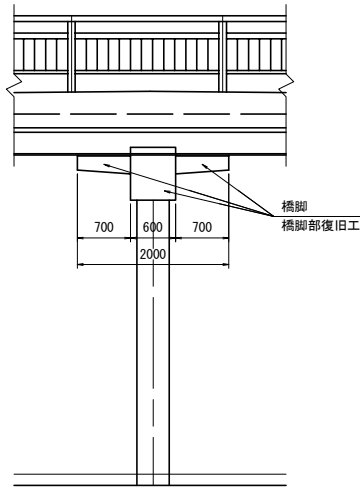


P1橋脚 S=1:50

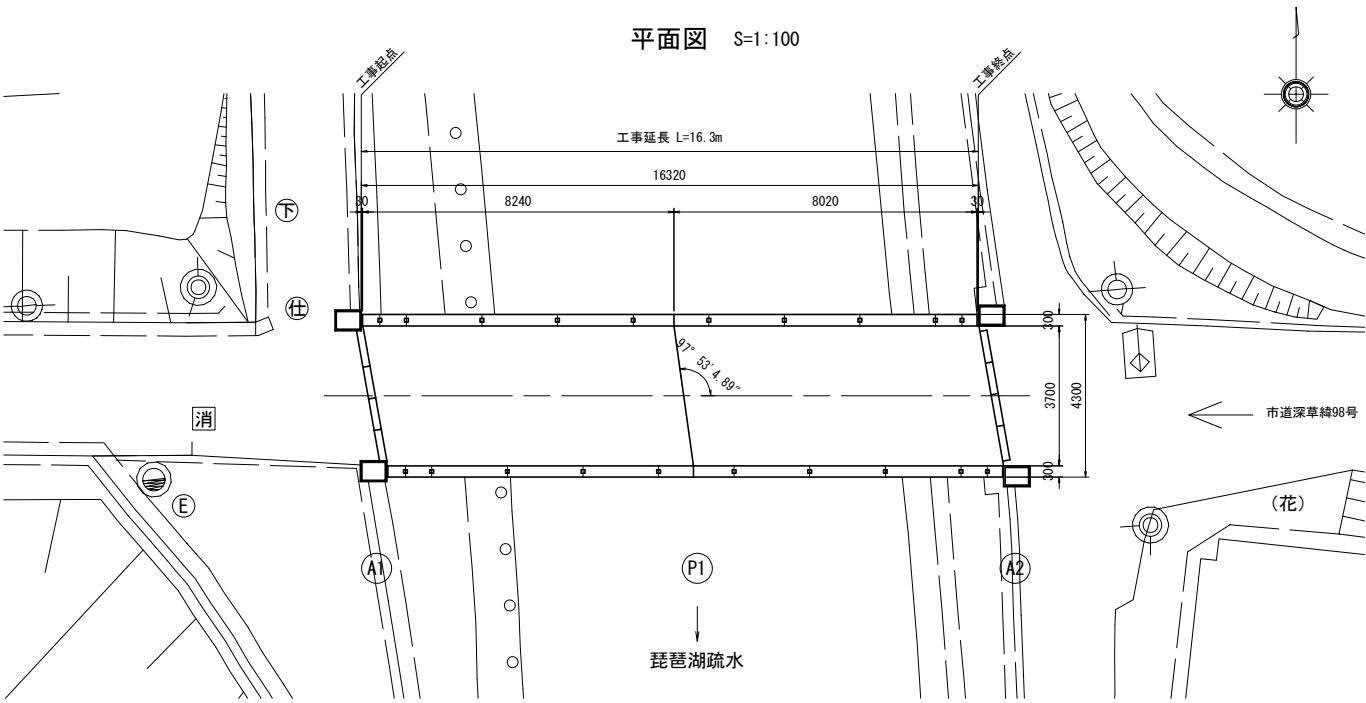
正面図



側面図



平面図 S=1:100



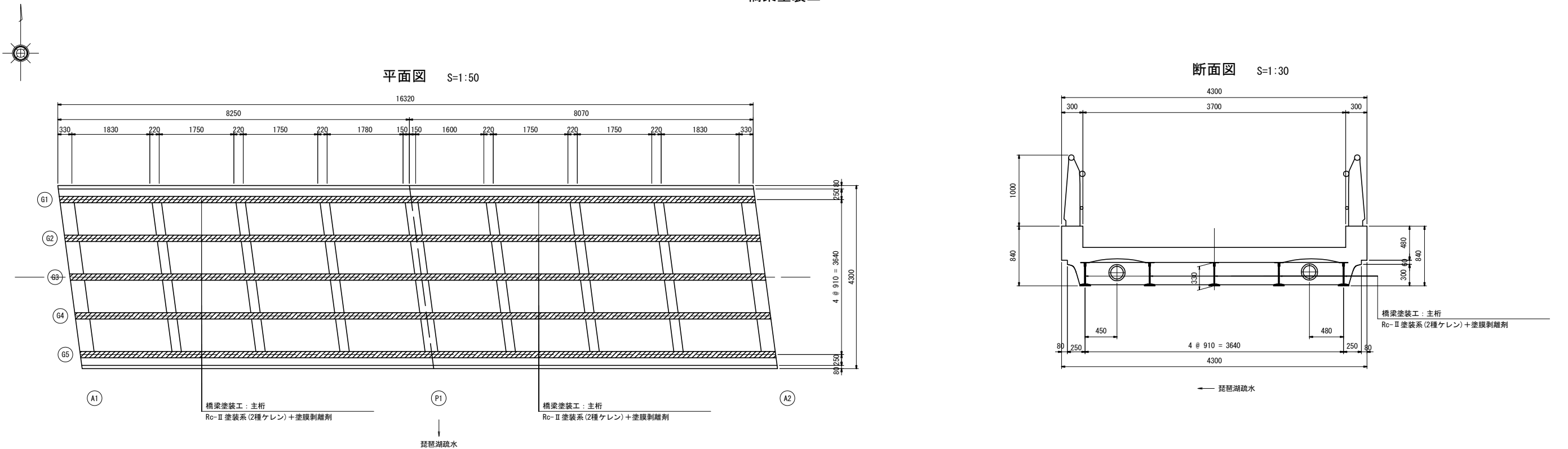
補修項目一覧表

対象部材	対策工
主桁	橋梁塗装工
横桁, 床版, 橋台, 橋脚, 地覆	断面修復工
橋脚	橋脚部復旧工、橋座部復旧工

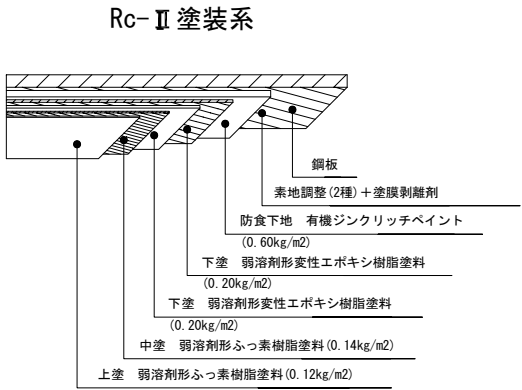
工 事 名	藤ノ森橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区直達橋南1丁目他地内		
図 面 名	藤ノ森橋 補修工一般図		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	2 / 25
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

藤ノ森橋 補修工図(1)

橋梁塗装工



塗装要領図及び塗装仕様



現場塗装(既設部材)：Rc-Ⅱ 塗装系 (はけ、ローラー)

塗装工程		仕 様	使用量 (g/m2)	塗膜厚	塗装間隔
1	素地調整	塗膜剥離剤 (中性型水系剥離剤 STRIPPER同等品以上)	ロス率=7%		4時間以内
2		2種ケレン (動力工具等)			
3	防食下地	有機ジンクリッチペイント	300×2	75μm	1日～10日
4	下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	60μm	1日～10日
5	下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	60μm	1日～10日
6	中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	30μm	1日～10日
7	上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用上塗	120	25μm	1日～10日

鋼道路橋防食便覧 P.Ⅱ-118

橋梁塗装工 (Rc-Ⅱ 塗装系) 数量表 (1橋当り)

塗装工程	単位	数 量	摘 要
塗膜除去	m2	63.1	
2種ケレン	m2	63.1	
Rc-Ⅱ 塗装系	m2	63.1	

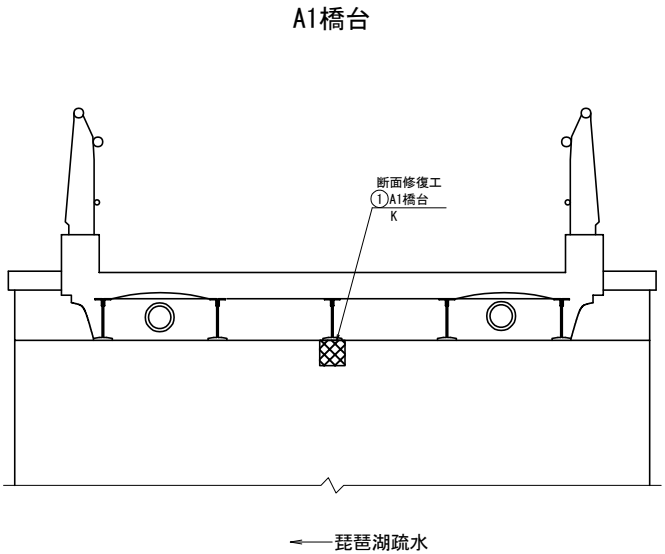
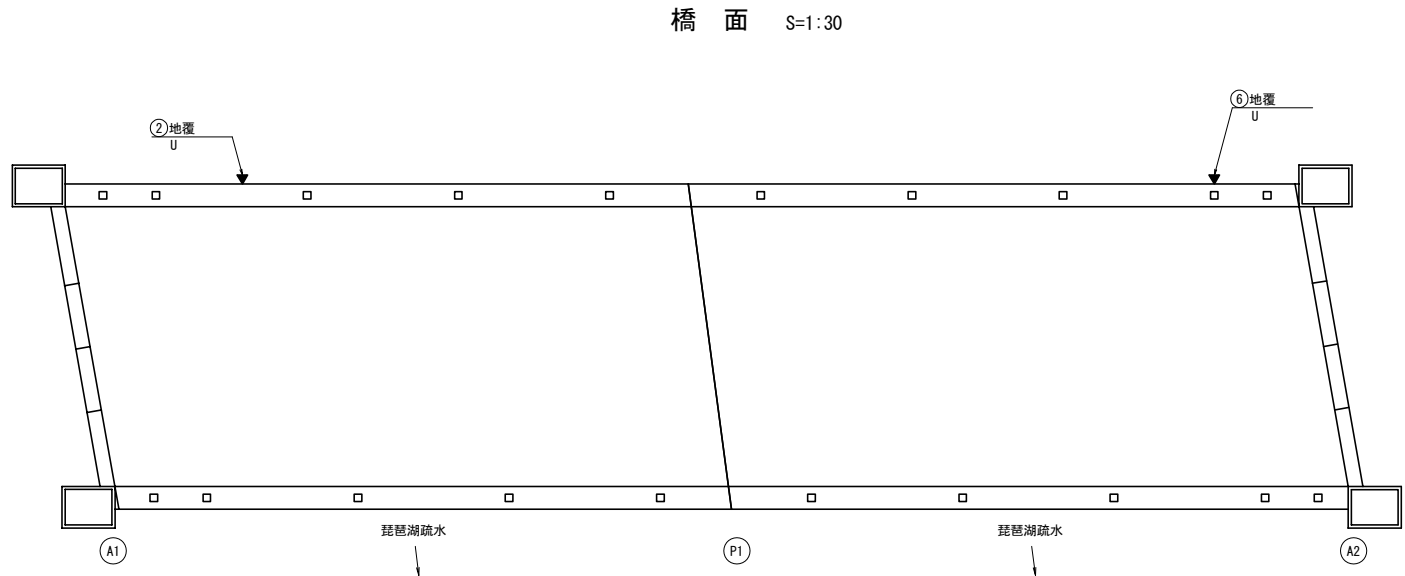
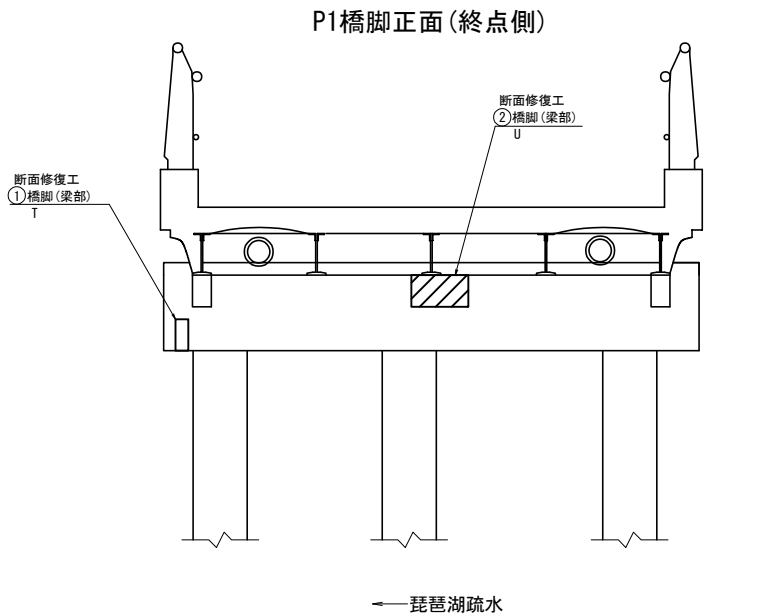
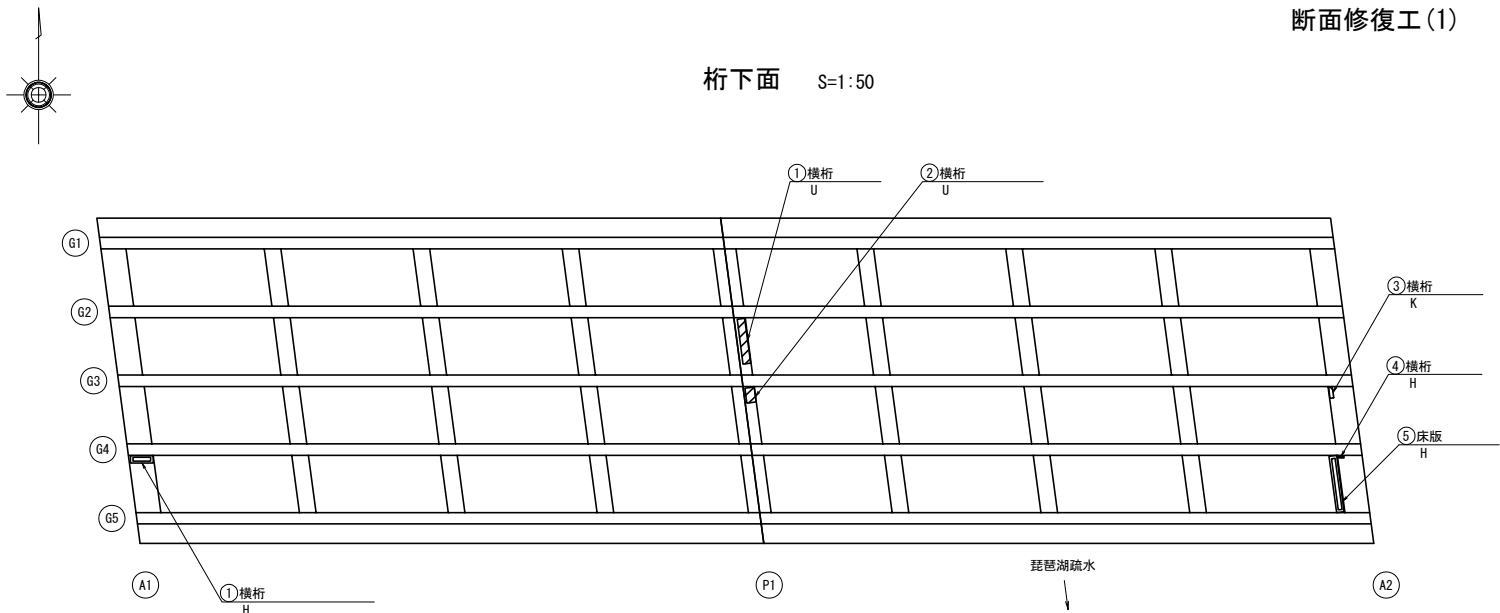
注記

- 施工前には必ず現況寸法を再測し、施工寸法を確認すること。
- 塗装仕様は「鋼道路橋防食便覧 H26.3(日本道路協会)」に準じること。
- 塗装塗り替え時は塗料等が飛散しないよう防護を行うこと。
- 施工前に事前の剥離試験を行い、現場条件に適した塗膜剥離剤の選定および剥離剤塗布回数(剥離回数)を監督員と協議の上決定すること。
- 塗装色は現況と同系色とするが、監督員と協議の上決定すること。

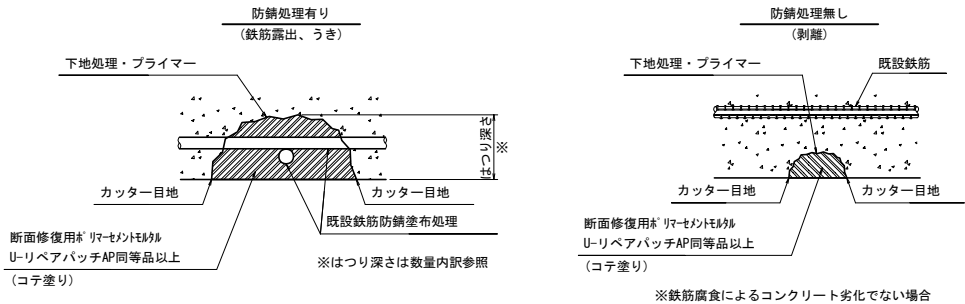
工 事 名	藤ノ森橋他2橋補工事		
工事場所	京都市伏見区直道橋南1丁目他地内		
図 面 名	藤ノ森橋 補修工図(1)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	3 / 25
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

藤ノ森橋 補修工図(2)

断面修復工(1)



断面修復工詳細図



断面修復工特記事項

- 断面修復はつり深さは、現地のコンクリート劣化状況により決定すること。
- 断面修復面積は、コンクリートの劣化状況により決定するものとし現地にて確認すること。
- 断面修復の箇所のフェザーエッジを回避するため、コンクリートカッターで切れ目を入れること。

注記)

- 鉄筋露出部のはつり深さは20mm+30mm=50mmを基準とする。
但し、計測深さが基準値以上の場合は計測値をはつり深さとする。
- うきのはつり深さは、50mmと想定している。
- 剥離のはつり深さは、計測値をはつり深さとする。

損傷の凡例

記号	損傷の種類	表 示
H	剥離	
T	鉄筋露出	
U	うき	
K	欠損	
	側面の損傷	

工 事 名	藤ノ森橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区直達橋南1丁目他地内		
図 面 名	藤ノ森橋 補修工図(2)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	4 / 25
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

藤ノ森橋 補修工図(3)

断面修復工(2)

断面修復工 数量内訳

・桁下面(A1-P1)

番号	防錆処理	補修箇所	損傷種類	長さ (m)	幅 (m)	はつり深さ (m)	箇所	体積 (m3)
①	無	横桁	剥離	0.100	0.300	0.010	1	0.0003
②	有	地覆	うき	0.200	1.200	0.050	1	0.0120
桁下面(A1-P1) 小計（防錆処理有）								0.0120
桁下面(A1-P1) 小計（防錆処理無）								0.0003

・桁下面(P1-A2)

番号	防錆処理	補修箇所	損傷種類	長さ (m)	幅 (m)	はつり深さ (m)	箇所	体積 (m3)
①	有	横桁	うき	0.100	0.600	0.050	1	0.0030
②	有	横桁	うき	0.250	0.200	0.050	1	0.0025
③	無	横桁	欠損	0.150	0.050	0.015	1	0.0001
④	無	横桁	剥離	0.100	0.050	0.010	1	0.0001
⑤	無	床版	剥離	0.750	0.100	0.020	1	0.0015
⑥	有	地覆	うき	0.200	1.400	0.050	1	0.0140
橋面(P1-A2) 小計（防錆処理有）								0.0195
橋面(P1-A2) 小計（防錆処理無）								0.0017

・P1橋脚

番号	防錆処理	補修箇所	損傷種類	長さ (m)	幅 (m)	はつり深さ (m)	箇所	体積 (m3)
①	有	橋脚(梁部)	鉄筋露出	0.250	0.100	0.050	1	0.0013
②	有	橋脚(梁部)	うき	0.450	0.250	0.050	1	0.0056
P1橋脚 小計（防錆処理有）								0.0069
P1橋脚 小計（防錆処理無）								-

・A1橋台

番号	防錆処理	補修箇所	損傷種類	長さ (m)	幅 (m)	はつり深さ (m)	箇所	体積 (m3)
①	無	橋台	欠損	0.200	0.200	0.010	1	0.0004
桁下面(A1-P1) 小計（防錆処理有）								-
桁下面(A1-P1) 小計（防錆処理無）								0.0004

※ はつり深さは、想定値とする。

・集計表

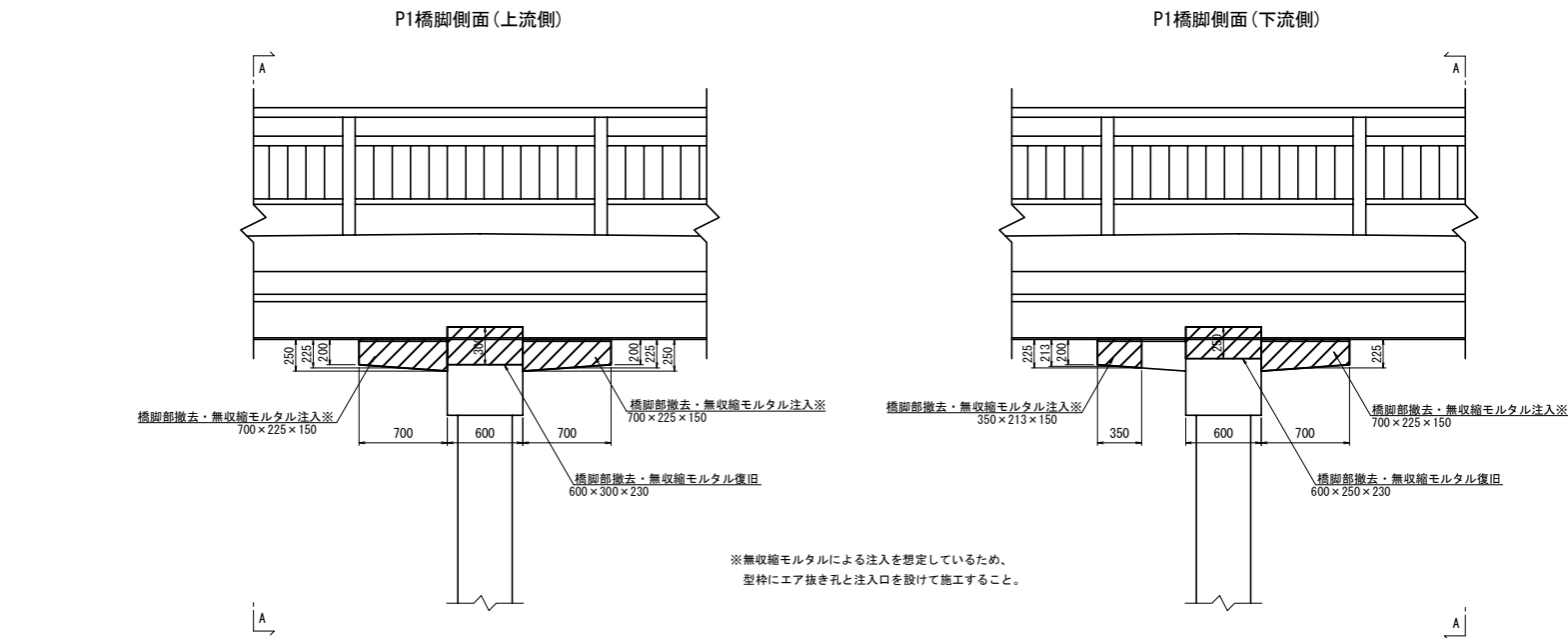
補修箇所	体積 (m3)	
	防錆処理有	防錆処理無
桁下面(A1-P1)	0.0120	0.0003
桁下面(P1-A2)	0.0195	0.0017
P1橋脚	0.0069	-
A1橋台	-	0.0004
合 計	0.0384	0.0024

工 事 名	藤ノ森橋他2橋補工事		
工事場所	京都市伏見区直違橋南1丁目他地内		
図 面 名	藤ノ森橋 補修工図(3)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	5 / 25
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

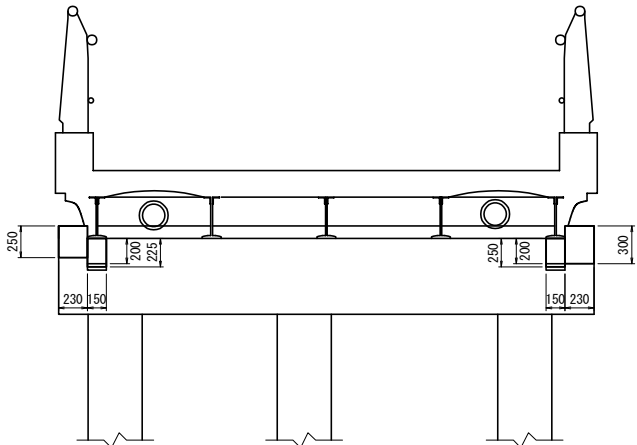
藤ノ森橋 補修工図(4)

橋脚部復旧工・橋座部復旧工

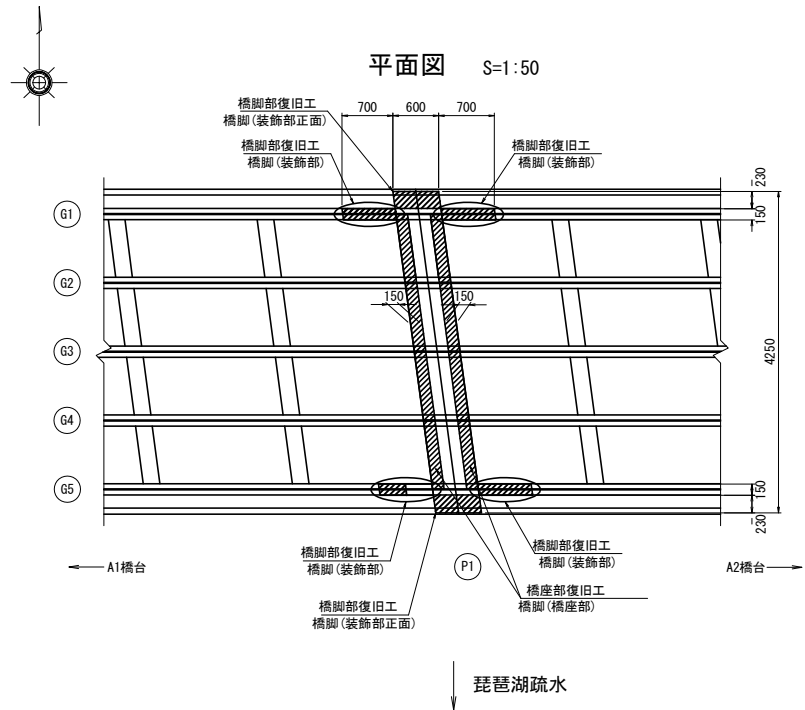
橋脚部復旧工



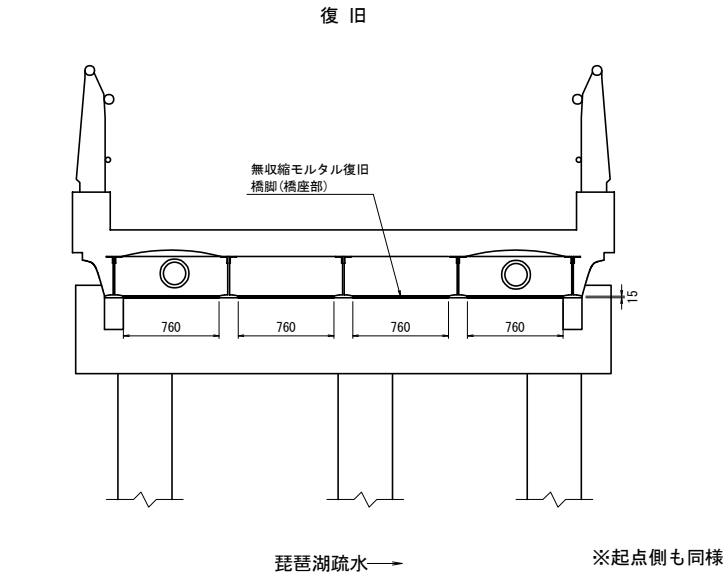
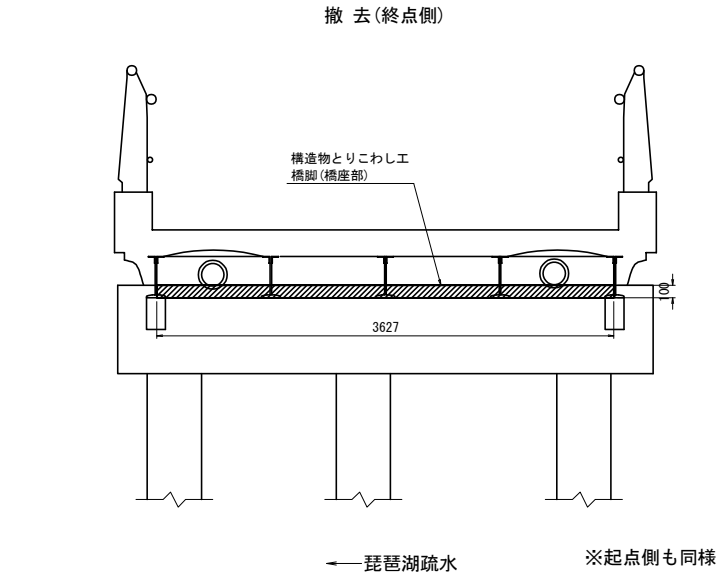
A-A断面図
型枠設置



琵琶湖疏水



橋座部復旧工



橋脚部復旧工 数量表

細別	規格	単位	数量	備考
構造物とりこわし工	鉄筋構造物	m3	0.158	
般運搬・処分	コンクリート、鉄筋構造物	m3	0.158	
		t	0.371	
無収縮モルタル注入	無収縮モルタル(太平洋ﾌﾟﾚｰﾐｱｸﾞﾗｯﾄ同等品以上)	m3	0.082	
無収縮モルタル復旧	無収縮モルタル(太平洋ﾌﾟﾚｰﾐｱｸﾞﾗｯﾄ同等品以上)	m3	0.076	
型枠工	一般型枠、小型構造物	m2	2.441	
	化粧型枠、小型構造物	m2	0.330	

橋座部復旧工 数量表

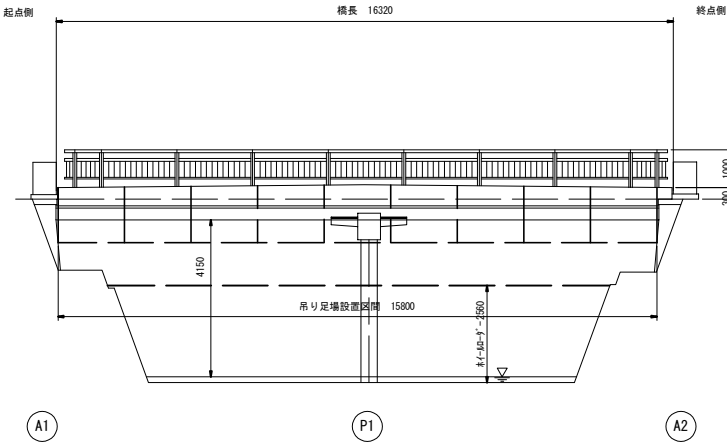
細別	規格	単位	数量	備考
構造物とりこわし工	無筋構造物	m3	0.109	
般運搬・処分	コンクリート、無筋構造物	m3	0.109	
		t	0.256	
無収縮モルタル復旧	無収縮モルタル(太平洋ﾌﾟﾚｰﾐｱｸﾞﾗｯﾄ同等品以上)	m3	0.014	
型枠工	一般型枠、小型構造物	m2	0.091	

- 注記)
- 橋脚(装飾部)の形状は現況復旧とし、装飾部正面は化粧仕上げとする。
なお、化粧型枠を処分する必要がある場合は、監督員に別途協議すること。
 - 橋脚部復旧工において、既設鉄筋(差筋)には防錆処理を施すこと。
なお、既設鉄筋(差筋)が見られない場合は、監督職員に協議すること。

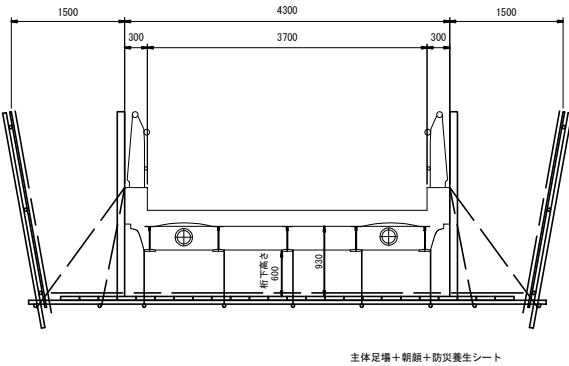
工 事 名	藤ノ森橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区直道橋南1丁目他地内		
図 面 名	藤ノ森橋 補修工図(4)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	1:30	図面番号	6 / 25
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

藤ノ森橋 足場工図(参考図)

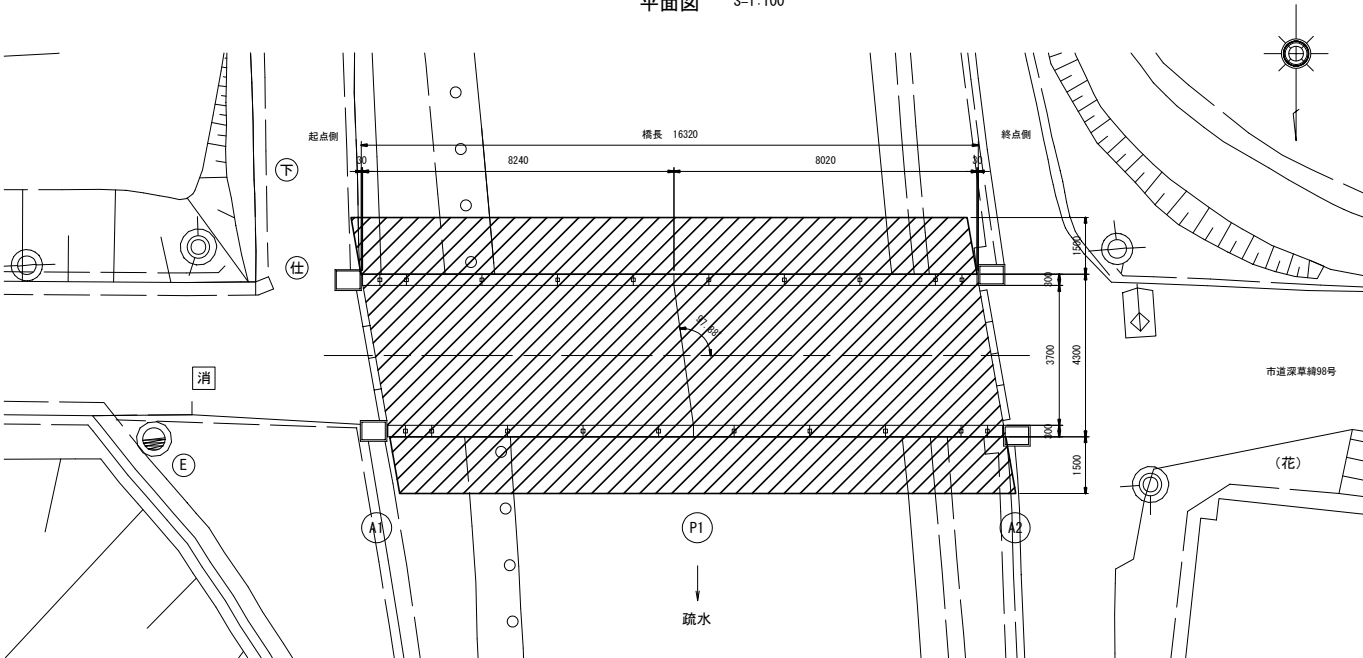
側面図 S=1:100



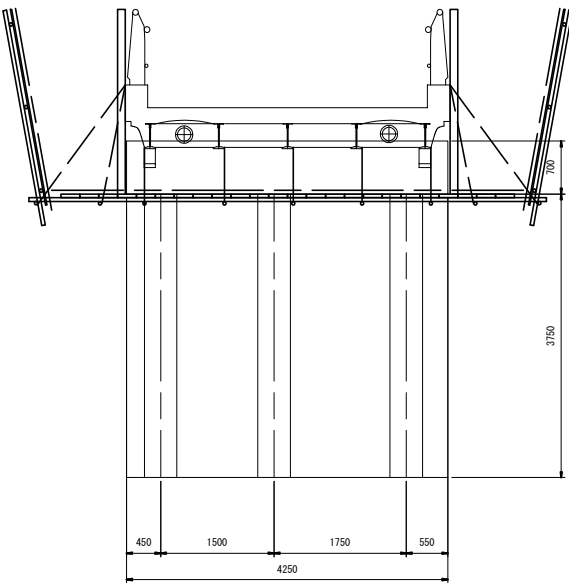
断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



P1橋脚 S=1:50



足場工数量表

工 種	種 別	単位	数量	備 考
吊足場	タイプA1、両側朝顔、床面シート張防護、湿式剥離剤工養生シート工	m2	70.2	

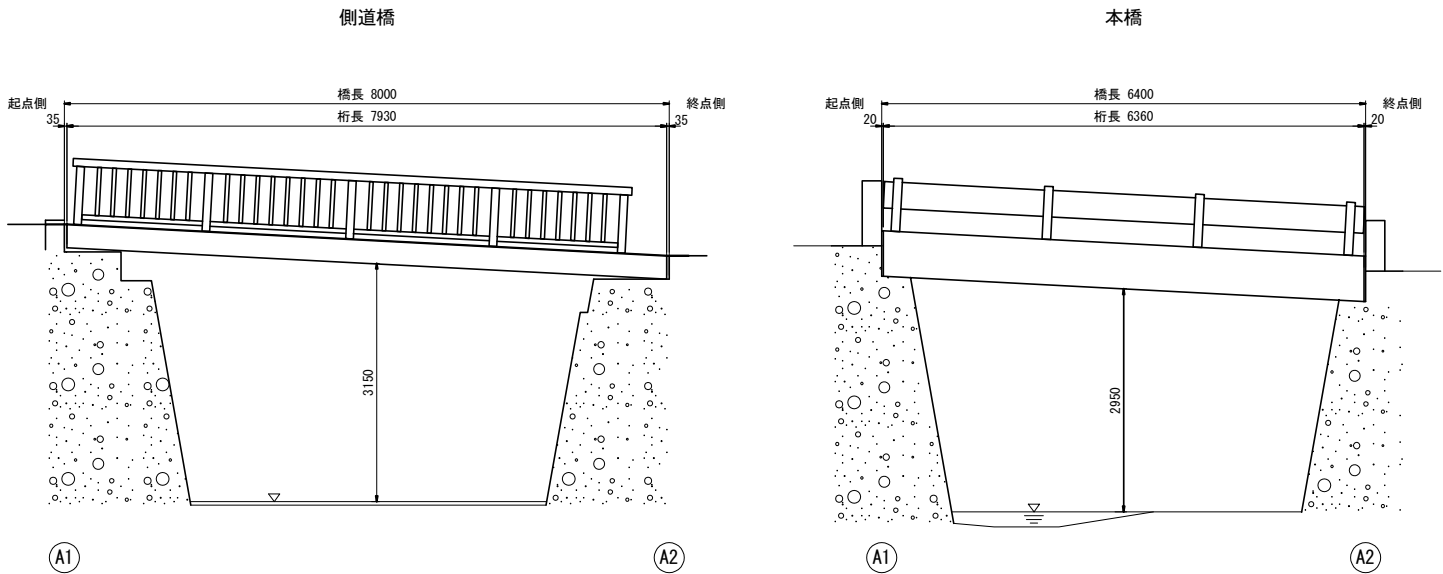
注記)

- 施工時、現地確認の上、詳細寸法を決定すること。
- 塗膜に有害物質が含まれるため、塗膜剥離・素地調整施工時等は、足場外へ塗膜が飛散しないように環境へ配慮した対応を行うこと。
- 吊足場には、足場工・朝顔(両側朝顔)・板張工(両側朝顔)・床版シート張防護が含まれている。
- 吊足場の供用期間は、0.7箇月を想定している。
- 塗膜剥離時には、湿式塗膜剥離剤工用シート工により養生を行うこと。
- 湿式塗膜剥離剤工用シート工は、供用期間を0.2箇月と想定している。

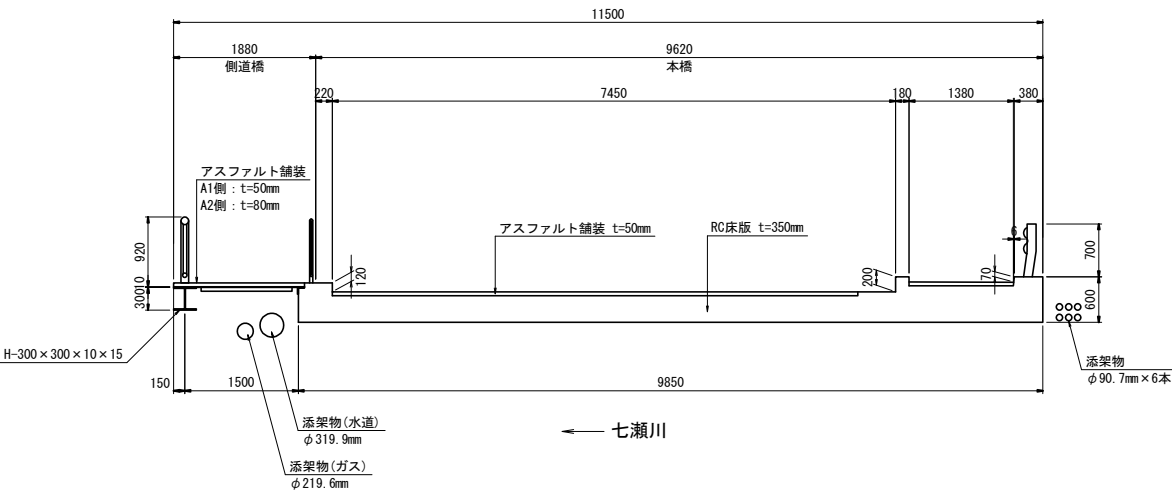
工 事 名	藤ノ森橋他2橋補工事		
工事場所	京都市伏見区直違橋南1丁目他地内		
図 面 名	藤ノ森橋 足場工図(参考図)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	7 / 25
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

新谷口橋 橋梁一般図 S=1:60

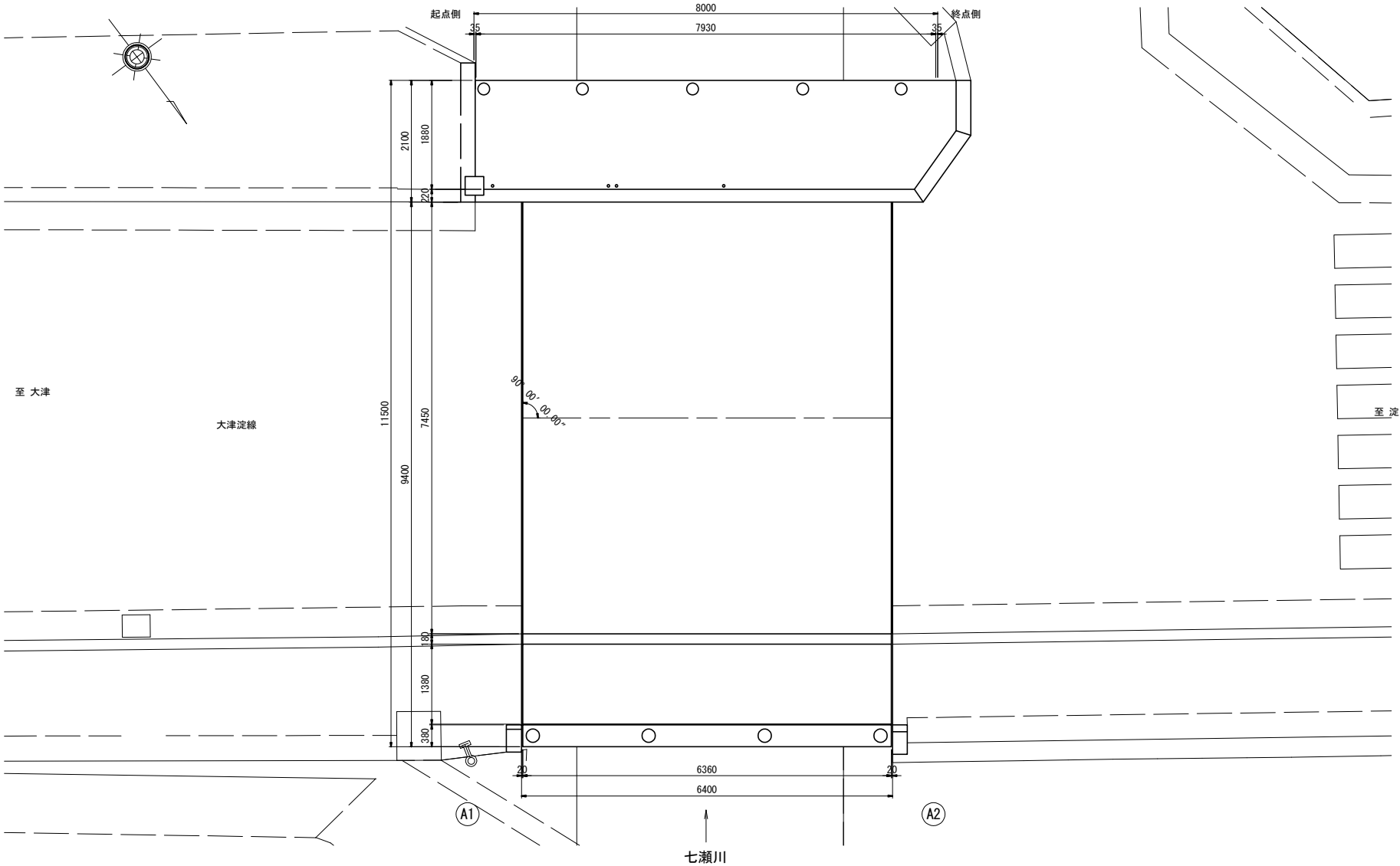
側面図 S=1:50



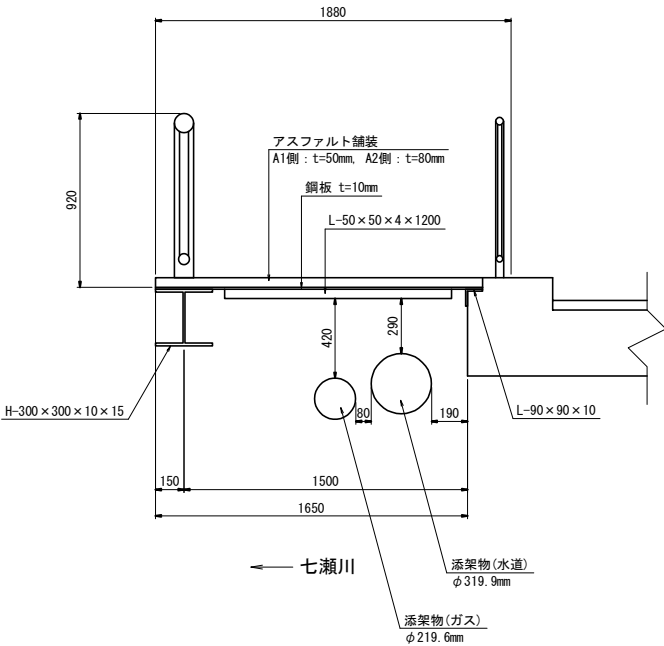
断面図 S=1:50



平面図 S=1:50



側道橋断面図 S=1:20

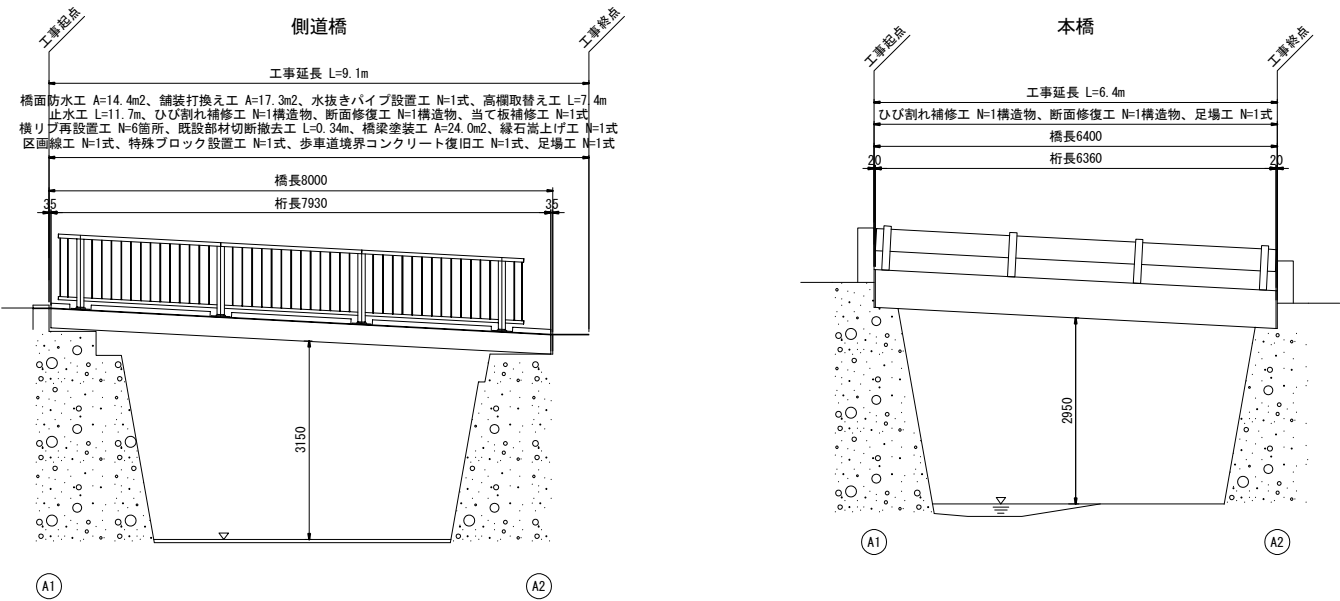


設計条件		
橋長	本橋: 6.400m, 側道橋: 8.000m	
桁長	本橋: 6.360m, 側道橋: 7.930m	
有効幅員	車道部: 7.450m 歩道部: 1.380m (本橋), 1.880m (側道橋)	
全幅員	11.500m	
斜角	90°	
活荷重	TL-14	
舗装	アスファルト舗装 t=50mm	
上部工形式	本橋: RC中実床版橋 側道橋: 単純H形鋼橋 (非合成)	
下部工形式	重力式橋台	
基礎形式	不明	
竣工年月	本橋: 昭和40年(1965年) 58年経過 側道橋: 昭和54年(1979年) 44年経過	

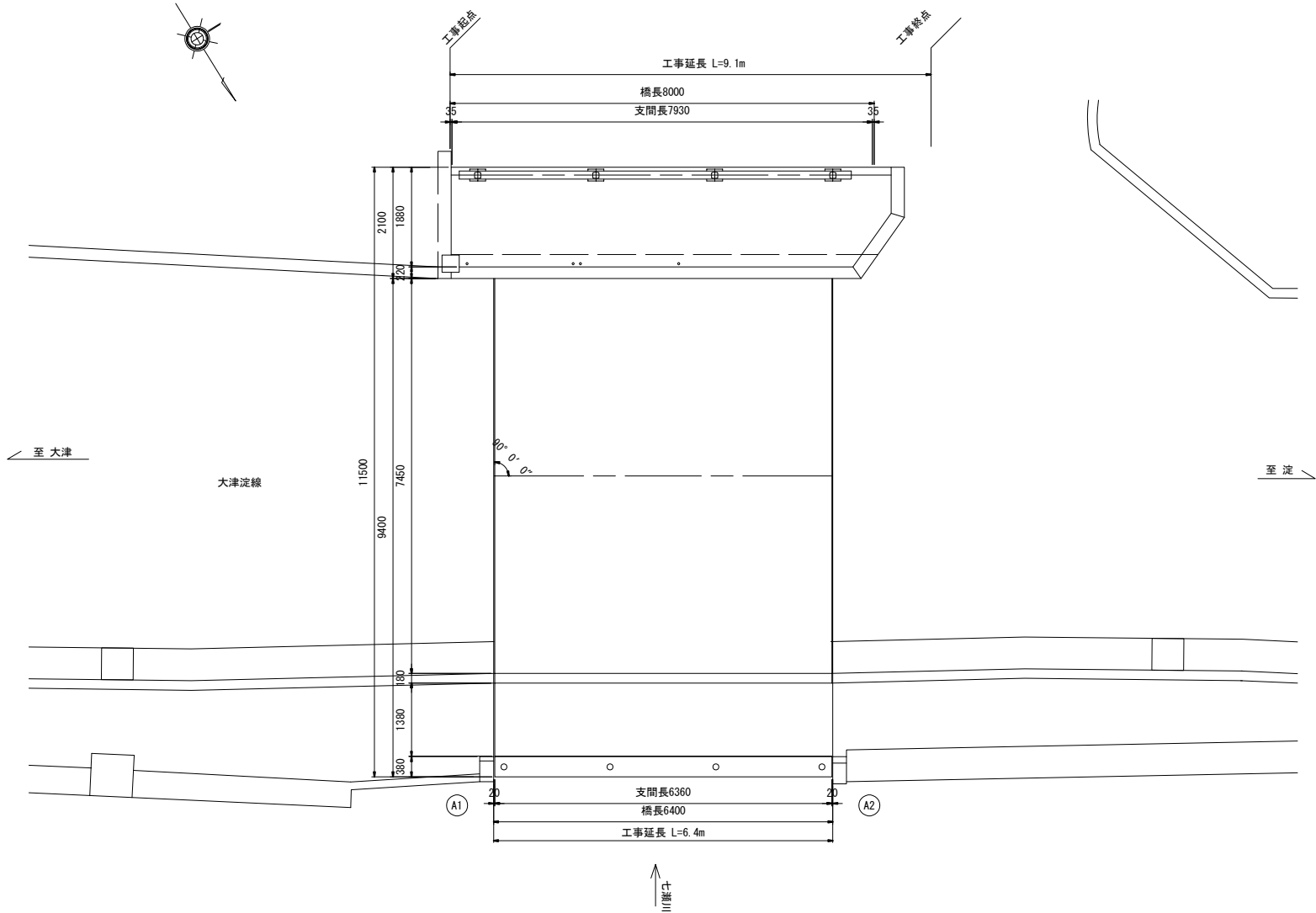
工事名	藤ノ森橋他2橋補工事		
工事場所	京都市伏見区直達橋南1丁目地内		
図面名	新谷口橋 橋梁一般図		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	8 / 25
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

新谷口橋 補修一般図

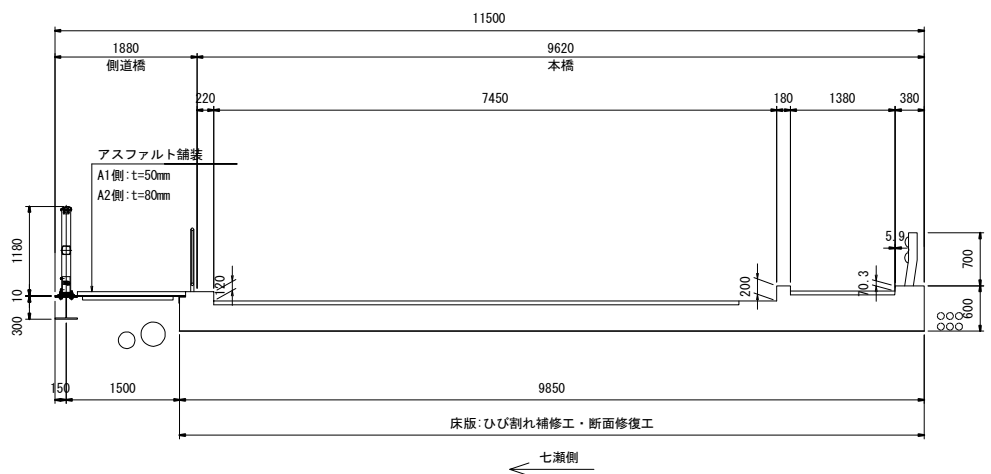
側面図 S=1:50



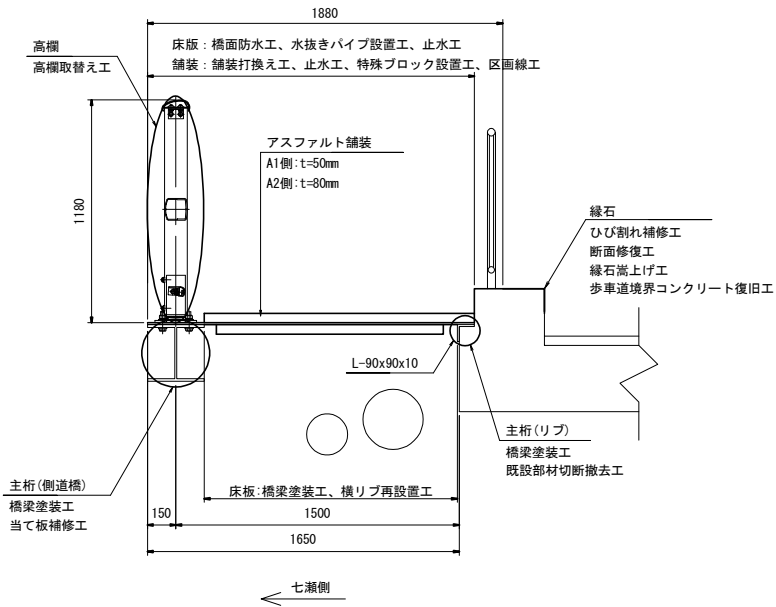
平面図 S=1:50



断面図 S=1:50



側道橋断面図 S=1:20



補修項目一覧表(本橋)

対象部材	対策工
床版(本橋)	ひび割れ補修工、断面修復工

補修項目一覧表(側道橋)

対象部材	対策工
主桁(側道橋)	橋梁塗装工、当て板補修工
床版	橋梁塗装工、横リブ再設置工 既設部材切断撤去工、橋面防水工 水抜きパイプ設置工、止水工
支承	橋梁塗装工
橋台	断面修復工
高欄	高欄取替え工
舗装	舗装打換え工、止水工 特殊ブロック設置工、区画線工
縁石	ひび割れ補修工、断面修復工 縁石嵩上げ工 歩車道境界コンクリート復旧工

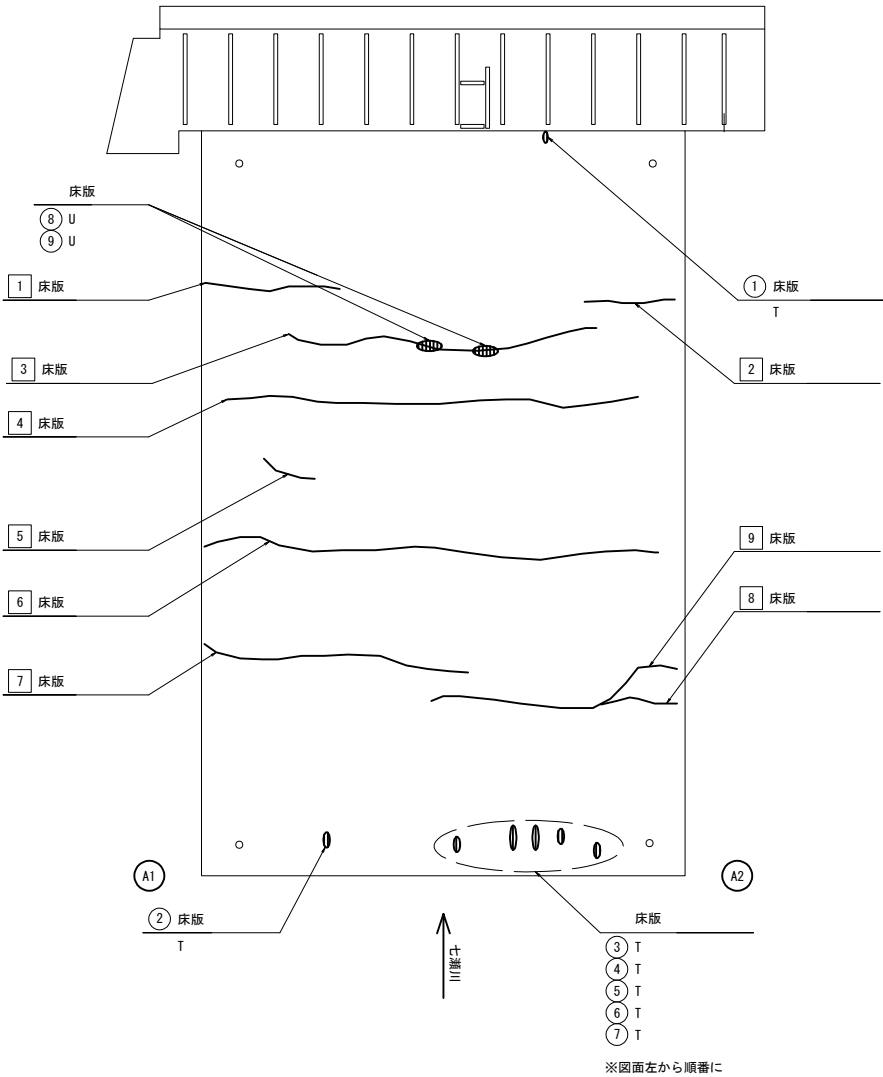
注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものである。
作図にあたり測量は実施していない。

工 事 名	藤ノ森橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区直道橋南1丁目他地内		
図 面 名	新谷口橋 補修一般図		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	9 / 25
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

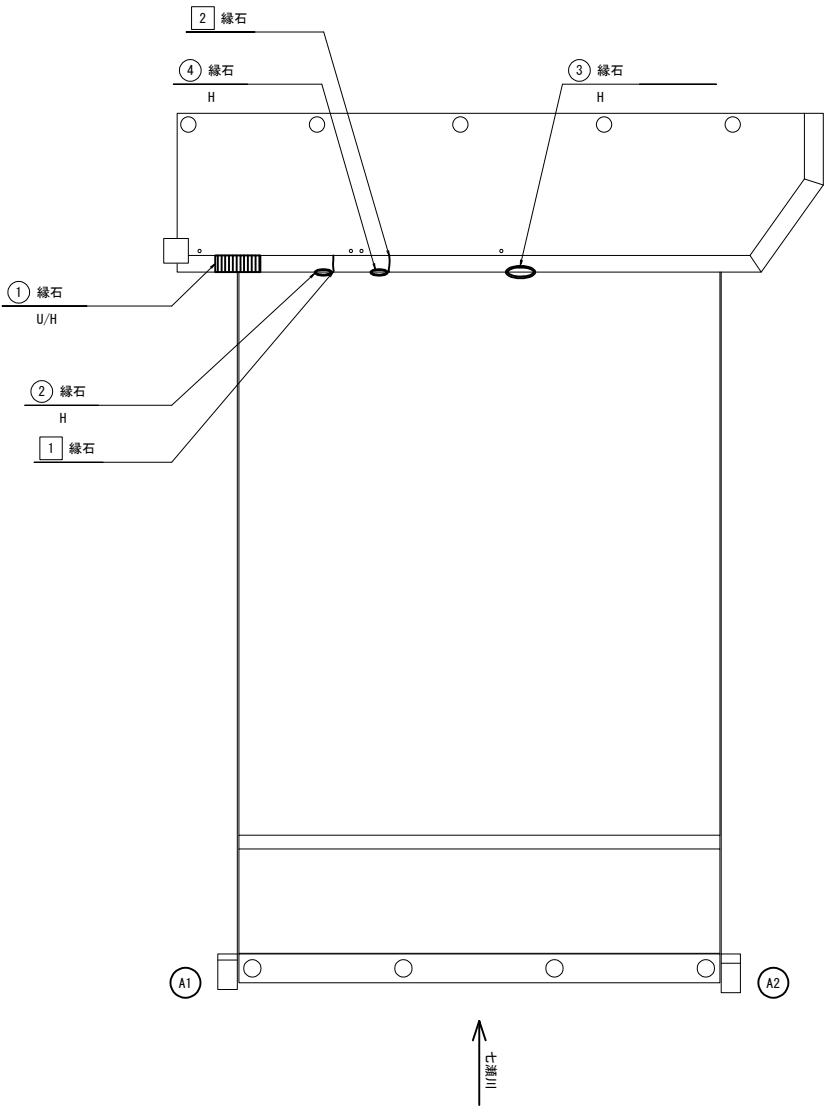
新谷口橋 補修工図(1)

ひび割れ補修工・断面修復工(1)

桁下面 S=1:50

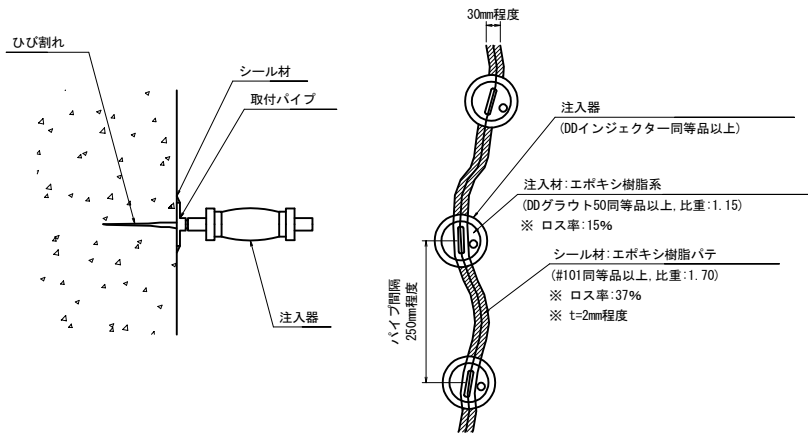


橋 面 S=1:50

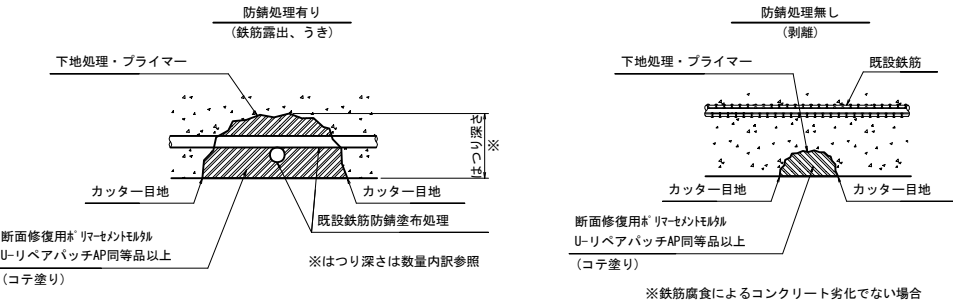


ひび割れ補修工(低圧注入工法)詳細図

(ひび割れ幅 0.2mm以上1.0mm未満)



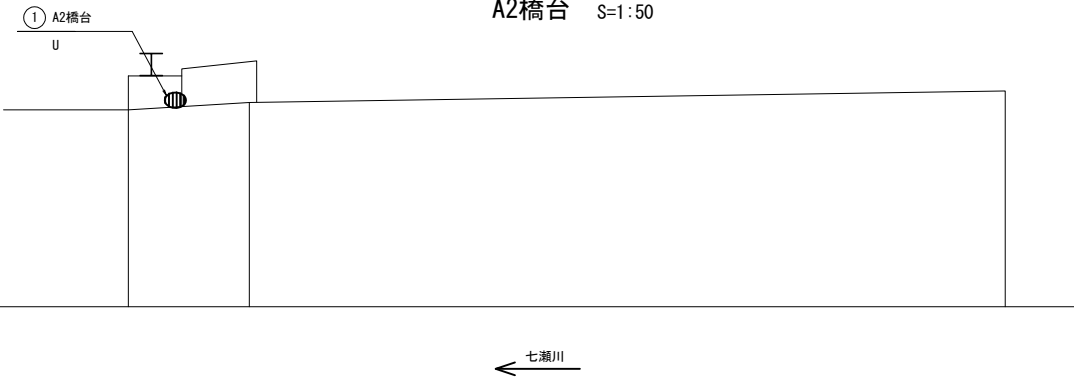
断面修復工(左官工法)詳細図



断面修復工特記事項

- 断面修復はつり深さは、現地のコンクリート劣化状況により決定すること。
- 断面修復面積は、コンクリートの劣化状況により決定するものとし現地にて確認すること。
- 断面修復の箇所のフェザーエッジを回避するため、コンクリートカッターで切れ目を入れること。

A2橋台 S=1:50



損傷の凡例

記号	損傷の種類	表示
-	ひび割れ	
H	剥離	
T	鉄筋露出	
U	うき	

※ 損傷の寸法
W=0.00/L=000 : ひび割れ幅/長さ (mm)
00x00 : 損傷長さ×幅 (mm)

※ 補修区分
□ : 数字はひび割れ補修工(低圧注入工法)箇所
△ : 数字はひび割れ補修工(充填工法)箇所
○ : 数字は断面修復工(左官工法)箇所

注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものであるため、
図中詳細寸法等は現地計測のうえ決定すること。
2. 補修数量に関しては、工事の際に損傷が進行していることも推定され
るため、損傷範囲を現地計測し決定すること。
3. 断面修復工は左官工法とするが、状況に応じて型枠を設置すること。

工 事 名	藤ノ森橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区直達橋南1丁目他地内		
図 面 名	新谷口橋 補修工図(1)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	10 / 25
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

新谷口橋 補修工図(2)

ひび割れ補修工・断面修復工(2)

ひび割れ補修工（注入工法）数量内訳

・桁下面

番号	補修箇所	幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)	箇所	延長 (m)	体積 (m3)	注入器数 (個)
1	床版	0.00055	3.100	0.110	1	3.100	0.00019	13
2	床版	0.00030	1.300	0.060	1	1.300	0.00002	6
3	床版	0.00070	2.900	0.140	1	2.900	0.00028	12
4	床版	0.00040	4.600	0.080	1	4.600	0.00015	19
5	床版	0.00030	0.800	0.060	1	0.800	0.00001	4
6	床版	0.00040	5.000	0.080	1	5.000	0.00016	20
7	床版	0.00040	3.000	0.080	1	3.000	0.00010	12
8	床版	0.00030	1.500	0.060	1	1.500	0.00003	6
9	床版	0.00030	3.600	0.060	1	3.600	0.00006	15
橋面 小計						25.800	0.00100	107

※ひび割れ深さは、ひび割れ幅x200(<350)とする

・橋面

番号	補修箇所	幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)	箇所	延長 (m)	体積 (m3)	注入器数 (個)
1	縁石	0.00060	0.250	0.120	1	0.250	0.00002	1
2	縁石	0.00060	0.220	0.120	1	0.220	0.00002	1
橋面 小計						0.470	0.00004	2

※ひび割れ深さは、ひび割れ幅x200(<350)とする

・集計表

補修箇所	延長 (m)	体積 (m3)	注入器数 (個)
桁下面	25.800	0.00100	107
橋 面	0.470	0.00004	2
合 計	26.270	0.00104	109

断面修復工 数量内訳

・桁下面

番号	防錆処理	補修箇所	損傷種類	長さ (m)	幅 (m)	はつり深さ (m)	箇所	体積 (m3)
①	有	床版	鉄筋露出	0.300	0.050	0.050	1	0.0008
②	有	床版	鉄筋露出	0.050	0.050	0.050	1	0.0001
③	有	床版	鉄筋露出	0.050	0.050	0.050	1	0.0001
④	有	床版	鉄筋露出	0.050	0.250	0.050	1	0.0006
⑤	有	床版	鉄筋露出	0.020	0.250	0.050	1	0.0003
⑥	有	床版	鉄筋露出	0.030	0.100	0.050	1	0.0002
⑦	有	床版	鉄筋露出	0.030	0.050	0.050	1	0.0001
⑧	有	床版	うき	0.300	0.300	0.050	1	0.0045
⑨	有	床版	うき	0.300	0.200	0.050	1	0.0030
桁下面 小計（防錆処理有）								0.0097
桁下面 小計（防錆処理無）								-

・橋面

番号	防錆処理	補修箇所	損傷種類	長さ (m)	幅 (m)	はつり深さ (m)	箇所	体積 (m3)
①	有	縁石	うき、剥離	0.600	0.220	0.050	1	0.0066
②	無	縁石	剥離	0.100	0.040	0.010	1	0.0001
③	無	縁石	剥離	0.400	0.250	0.060	1	0.0060
④	無	縁石	剥離	0.200	0.040	0.040	1	0.0003
橋面 小計（防錆処理有）								0.0066
橋面 小計（防錆処理無）								0.0064

・橋台

番号	防錆処理	補修箇所	損傷種類	長さ (m)	幅 (m)	はつり深さ (m)	箇所	体積 (m3)
①	有	A2橋台	うき	0.200	0.250	0.050	1	0.0025
橋台 小計（防錆処理有）								0.0025
橋台 小計（防錆処理無）								-

※ 鉄筋露出のはつり深さは、最小値50mm、または実測値とする。

※ うきのはつり深さは、実測深さを50mmと想定する。

※ 剥離のはつり深さは、実測値とする。

・集計表

補修箇所	体積 (m3)	
	防錆処理有	防錆処理無
桁下面	0.0097	-
橋 面	0.0066	0.0064
橋 台	0.0025	-
合 計	0.019	0.006

工 事 名	藤ノ森橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区直違橋南1丁目他地内		
図 面 名	新谷口橋 補修工図(2)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	11 / 25
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

橋梁塗装工

[illegible]

Technical drawing of the 'Shimada' (島田) model, showing a side elevation with dimensions. The drawing includes a main body with a width of 9620 and a total length of 11500. A side section on the left is 1880 wide and 920 high. A central section is 7450 wide and 220 high. A right section is 180 wide and 1380 high. The base is 9850 wide and 300 high. A small section on the right is 380 wide and 700 high. The drawing is labeled '側面図' (Side View) and '島田' (Shimada).

Technical drawing of a main beam (主桁01) showing dimensions and specifications:

- Overall width: 300
- Flange width (each side): 145
- Web thickness: 10
- Overall height: 300
- Clear height: 270
- Flange thickness (top and bottom): 15
- Beam specification: H-300 × 300 × 10 × 15
- Side beam specification: 側道筋主桁
- Wall length: 壁間用長 L=1490mm
- End area: 端面 A=0.012m²

主桁02

90

90

L-90 x 90 x 10

地覆部主桁

塗装厚長 L=150mm

端面 A=0.0004m²

50

46

4

46

50

L-50 x 50 x 4

リブ材

塗装厚長 L=150mm

端面 A=0.0004m²

Technical drawing of a bridge deck cross-section and plan view.

Cross-section details:

- Overall width: 8000
- Overall height: 1960
- Main beam height: 1585
- Steel plate thickness: 310
- Labels: 主桁 (Main beam), 鋼床板 (Steel plate)
- Dimensions: 7930, 350, 35, 2100, 1880, 220, 1585, 1960, 300

Plan view details:

- Overall width: 6400
- Overall height: 9400
- Labels: 鋼床板 (Steel plate)
- Dimensions: 6360, 20, 1380, 180, 7450, 2100

Other labels:

- 起点側 (Start side)
- 終点側 (End side)
- A1, A2 (Section markers)
- B1, B2 (Section markers)

Technical drawing of the table base showing dimensions and material specifications:

- Material: リブ材 L-50 × 50 × 4
- Dimensions:
 - Top surface width: 1200
 - Top surface depth: 75
 - Base width: 1340
 - Base depth: 1350
 - Base width (excluding legs): 300
 - Base height: 80
 - Overall width: 1730

平面

既設ボルト

400

145

PL-145 x 20 x 400

坐装周長(3辺板厚方向のみ計上) L=690mm

側面

既設ボルト

20

400

Rc-Ⅱ 塗装系

鋼板

表地調整(2層)＋塗膜剥離剤

防水下地 有機ジンクリッチペイント

下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料
(0.20kg/m²)

中塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料
(0.20kg/m²)

中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 (0.14kg/m²)

上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 (0.12kg/m²)

鋼板

素地調整 プラス処理 ISO Se 2 1/2

防食下地 無縫ジンクリッチペイント
(0.60kg/m²)

素地調整 動力工具処理 ISO St 3

ミストコート 変性エポキシ樹脂塗料下塗
(0.16kg/m²)

下塗 超厚膜形エポキシ樹脂塗料
(1.10kg/m²)

中塗 ふっ素樹脂塗料用中塗 (0.17kg/m²)

上塗 ふっ素樹脂塗料上塗 (0.14kg/m²)

塗装工程		仕 様	使用量 (g/m ²)	塗膜厚	塗装期間
1	素地調整	塗膜剥離剤 (中性型水系剥離剤 STRIPPER同等品以上) 、ロス率=7%			4時間以内
2		2層ケレン(動力工具等)			
3	防食下地	有機ジソリッチペイント	300×2	75μm	
4	下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	60μm	
5	下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	60μm	1日～10日
6	中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	30μm	
7	上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用上塗	120	25μm	1日～10日

鋼道路橋防食便覧 P.Ⅱ -118

(1橋当り)

塗装工程	単位	数 量	摘 要
塗膜除去	m2	24.7	主桁＋デッキ下面＋現況横リブ材＋支索部
2種ケレン	m2	24.7	主桁＋デッキ下面＋現況横リブ材＋支索部
Rc-II 塗装系	m2	24.0	主桁＋デッキ下面＋現況横リブ材＋支索部

(1橋当り)

塗装工程	単位	数 量	摘 要
素地調整	m2	1.7	当て板材+横リブ再設置材
F-11塗装系	m2	1.7	当て板材+横リブ再設置材

塗装工程		仕 様	使用量	塗膜厚	塗装間隔	
製作 工場	1	素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2		4時間以内	
	2	防食下地	無機ジंकリッチプライマー	0.60kg/m ²	75μm	1年以内
現 場	1	素地調整	動力工具処理 ISO St 3		4時間以内	
	2	ミストコート	水性エポキシ樹脂塗料下塗	0.16kg/m ²		1日～10日
	3	下塗り	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	1.10kg/m ²	300μm	1日～10日
	4	中塗り	ふっ素樹脂塗料用中塗	0.17kg/m ²	30μm	
	5	上塗り	ふっ素樹脂塗料用上塗	0.14kg/m ²	25μm	1日～10日

鋼道路橋防食便覧 P.Ⅱ-118

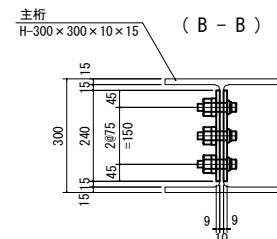
(注) 1 本図は現況資料及び現地調査結果に基づき作成したものであるため、
図中詳細寸法等は現況測定のうえ決定すること。
2 高欄へスローの建装は、基礎図面を参照すること。
3 施工時には必ず現況寸法を再測し、施工方法を確認すること。
4 装束仕様は「横浜道路防食仕様 H26.3 (日本道路協会)」に準じること。
5 装束材種別又は塗料等の使用については、事前の協議を行うこと。
6 施工に事前の試験観察を行い、現況条件に連した仕様と関係の決定
および割補修箇所を回数（割補修回数）を監督員と協議の上決定すること。
7 装束材は現況と異なるもので、監督員が協議の上決定すること。

工事名	藤ノ森橋他2橋補工事		
工事場所	京都市伏見区直達橋南1丁目他地内		
図面名	新谷口橋 補修工事(3)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	12 / 25
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

当て板補修工・横リブ再設置工・既設部材切断撤去工

側 面 図 S=1:10

断面図



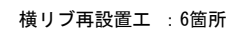
側 面 図



(桁下面)



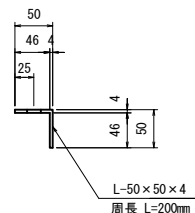
S=1:10



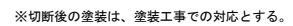
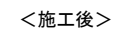
7-BN-M16×40(2W付)

2. 舗装撤去、復旧図は別途図面で計上。

S=1:5



＜現 況＞



※足場の設置撤去及び現場塗装は
全体工事工程に合わせて対応する。

※足場の設置撤去、舗装撤去、復旧
は全体工事工程に合わせて対応する。

(1橋当り)

細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
芯出し調整工	2種ケレン相当	m2	0.367	
鋼桁孔明工	水平向き、TCB M22、φ24孔、t=10mm	箇所	9	
	水平向き、ワンサイドボルト M24、φ26孔、t=10mm	箇所	9	
不陸修正工	エポキシ樹脂シーリング材(ポ'ント'E258R同等品以上)	m2	0.369	0.684kg
補強部材取付工		部材	2	
鋼材	PL-240×9×650、SS400、φ24孔とφ26孔(工場孔明)	kg	22.042	部材数：2個
	TCB M22x65(S10T)	本	9	
	ワンサイドボルトMUTF24-30	本	9	

(1橋当り)

細 別	規 格	単 位	数 量	摘 要
芯出し調整工	2種ケレン相当	m2	0.832	
現場孔明工	上向き、B.N M16、φ18L、t=10mm	箇所	42	
横リブ部材取付工		部材	6	
鋼材	L=50×50×4×1200、SS400、φ18L（工場孔明）	kg	22.032	部材数：6個
	B.N M16x40（2W付）	本	42	

(1橋当り)

細 別	規 格	単 位	数 量	摘 要
切断撤去工		m	0.340	

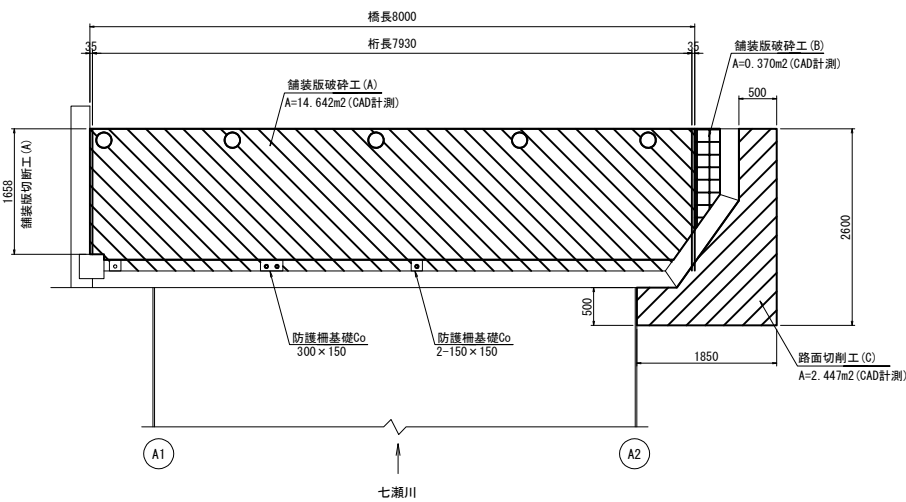
1. 施工に際しては事前に現地計測を行い、損傷状況や部材寸法等を確認の上製作施工すること。
2. 現地施工時に腐食の痕跡が見られ従って板補強の対策範囲を超える可能性がある場合は、監督員と協議の上、別途補修対策を再度検討すること。
3. 特記なき材質は全てS340とする。
4. 当てる板補強工の新設部材への孔は、T08設置区間ではφ24(工場孔明) ワインドボルト設置区間ではφ26(工場孔明)とする。

工 事 名	藤ノ森橋他2橋補工事		
工事場所	京都市伏見区直達橋南1丁目他地内		
図 面 名	新谷口橋 補修工図(4)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	13 / 25
京都市建設局土木管理部橋りより健全推進課			

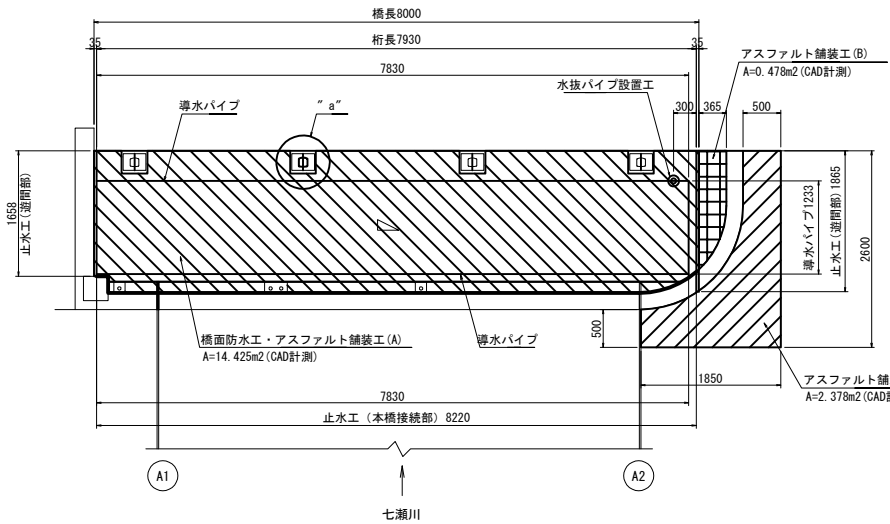
新谷口橋 補修工図(5)

橋面防水工・舗装打換え工・水抜きパイプ設置工・止水工

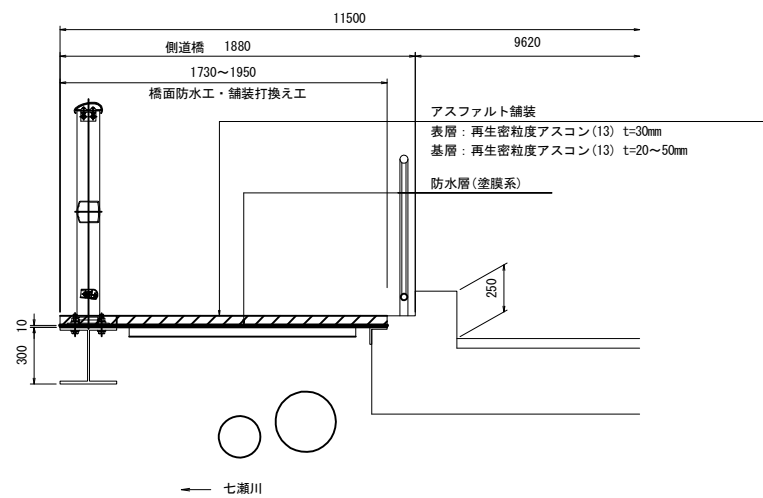
撤去平面図(側道橋) S=1:50



復旧平面図(側道橋) S=1:50



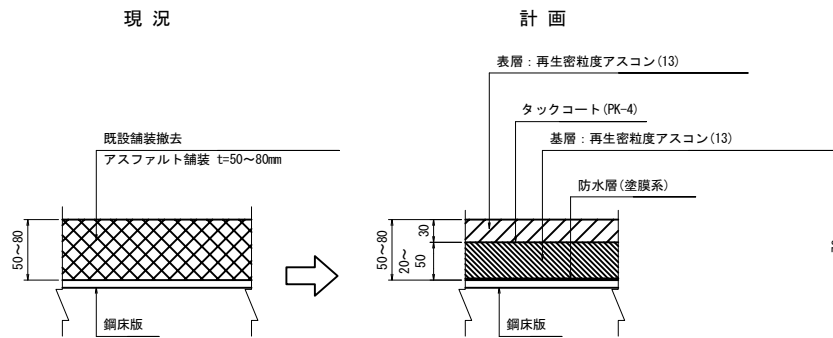
上部工断面図(側道橋) S=1:20



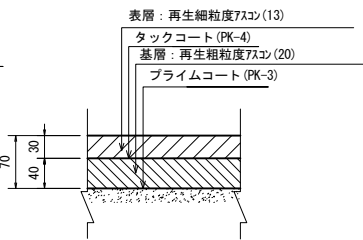
- 橋面防水工・舗装打換え工A
- 舗装打換え工B
- 舗装打換え工C(車道部)
- 導水パイプ
- 水抜きパイプ
- 勾配方向

舗装打換え工詳細図 S=1:5

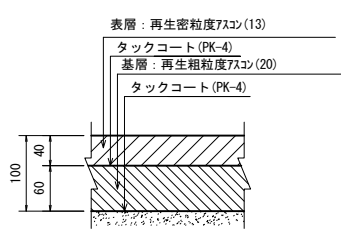
舗装打替え工A



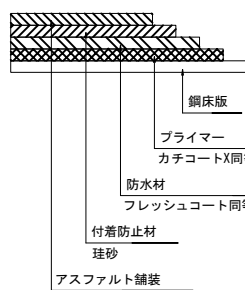
舗装打替え工B
(13号工)



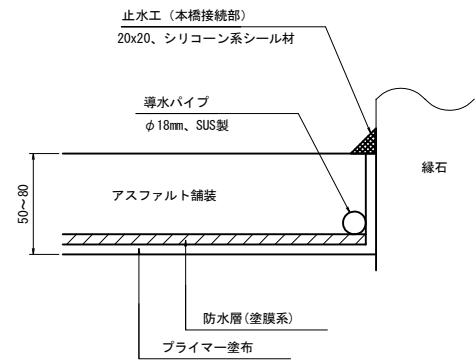
舗装打替え工C
(2号工:表層・基層)



防水層詳細

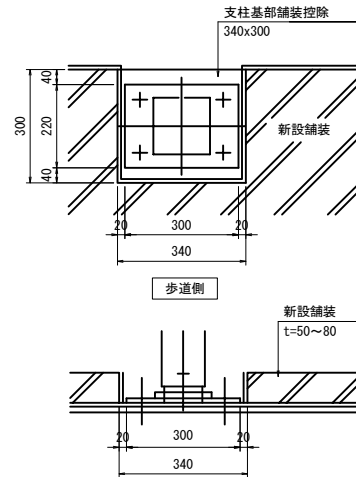


端部処理詳細 S=1:3

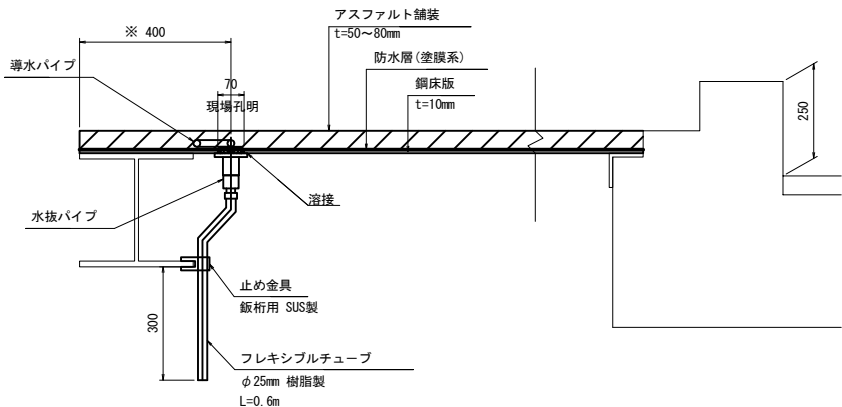


“a”部詳細 S=1:10

※ 図中 — 部は、型枠設置範囲(参考)を示す。



水抜きパイプ設置工設置詳細図 S=1:10



※ 水抜きパイプ設置位置は、既設部材に干渉しない範囲で設置可能な最小値とすること。

舗装打換え工A 数量表

(1橋当たり)

細 別	規 格	単 位	数 量	摘 要
舗装版切断工	アスファルト舗装 t=50~80mm	m	1.658	
舗装版破砕工	アスファルト舗装 t=50~80mm(平均65mm)	m2	14.642	
アスファルト舗装工	基層:再生粗粒度アスコン(13) t=20~50mm(平均35mm)	m2	14.425	
	表層:再生密粒度アスコン(13) t=30mm	m2	14.425	
搬運搬・処分	アスファルト	m3	0.952	
		t	2.190	

舗装打換え工B 数量表

(1橋当たり)

細 別	規 格	単 位	数 量	摘 要
舗装版破砕工	アスファルト舗装 t=70mm	m2	0.370	
アスファルト舗装工	基層:再生粗粒度アスコン(20) t=40mm	m2	0.478	
	表層:再生細粒度アスコン(13) t=30mm	m2	0.478	
搬運搬・処分	アスファルト	m3	0.026	
		t	0.060	

舗装打換え工C 数量表

(1橋当たり)

細 別	規 格	単 位	数 量	摘 要
路面切削工	アスファルト舗装 t=100mm	m2	2.447	
アスファルト舗装工	基層:再生粗粒度アスコン(20) t=60mm	m2	2.378	
	表層:再生密粒度アスコン(13) t=40mm	m2	2.378	
搬運搬・処分	アスファルト(切削)	m3	0.245	
		t	0.564	

橋面防水工 数量表

(1橋当たり)

内 訳	規 格	単 位	数 量	摘 要
防水層	塗膜系防水層(シーリング材以外の端部処理含む)	m2	14.425	
	プライマー:カチコートX同等品以上	m2	14.425	
導水パイプ設置	φ18mm、SUS製、ドレイナーⅡ型同等品以上	m	17.738	ロス率5%

止水工 数量表

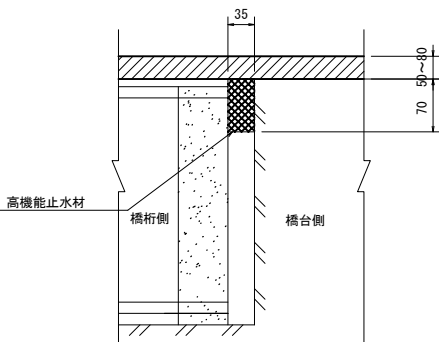
内 訳	規 格	単 位	数 量	摘 要
シール材	シリコン系、プライマー含む	m	8.220	本橋接続部
		リットル	4.143	標準ロス率26%
高機能止水材	メジエイドM40同等品以上	m	3.523	遊間部

水抜きパイプ設置工 数量表

(1橋当たり)

内 訳	規 格	単 位	数 量	摘 要
水抜きパイプ	スラブドレーン(鋼床版用)同等品以上	本	1	
現場孔明	φ70.0mm、t=10mm	孔	1	
フレキシブルチューブ	樹脂用φ25mm、スラブドレーン用同等品以上	m	0.600	
留め金具	h ¹ イタックリッパ 25C22C(SUS)同等品以上	個	1	
	h ¹ イタックPH1(SUS)同等品以上	個	1	

遊間部止水詳細図 S=1:5



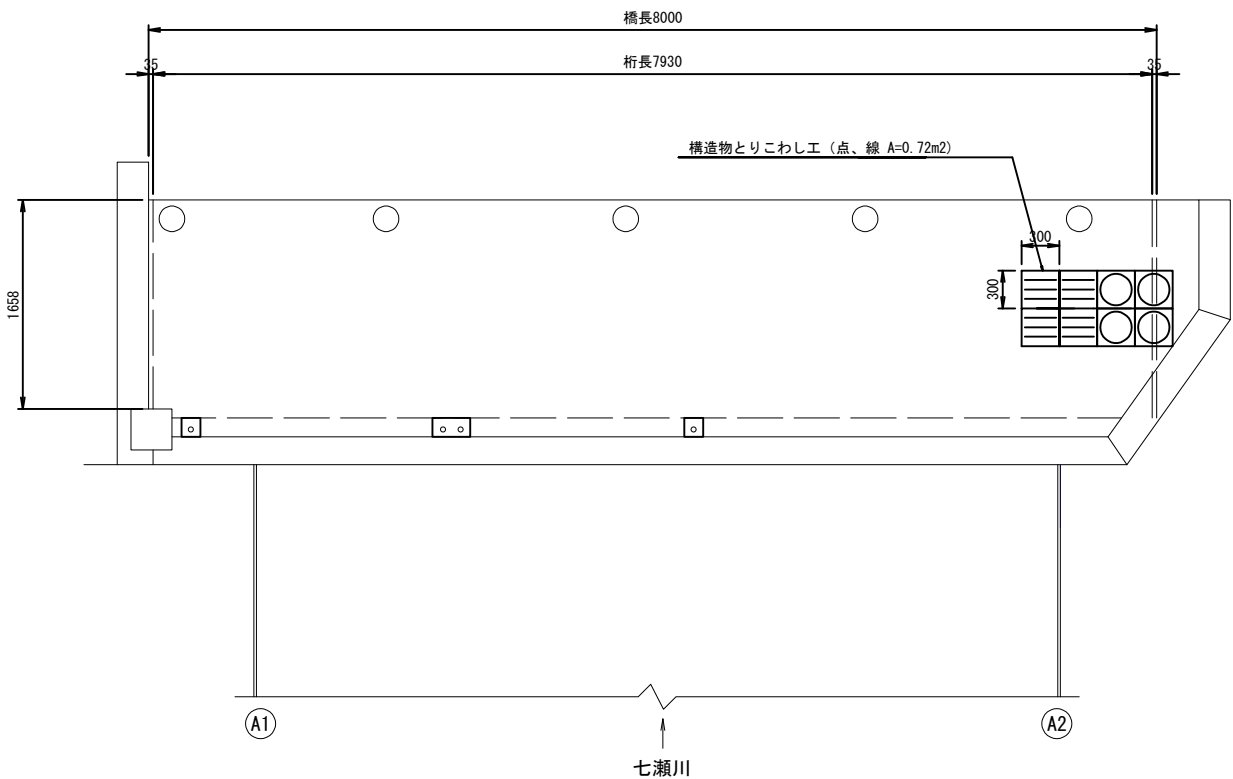
※遊間及び橋桁側の閉塞状況を施工前に確認すること

- 注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものであるため、
図中詳細寸法等は現地計測のうえ決定すること。
2. アスファルト舗装工は、人力施工を想定している。

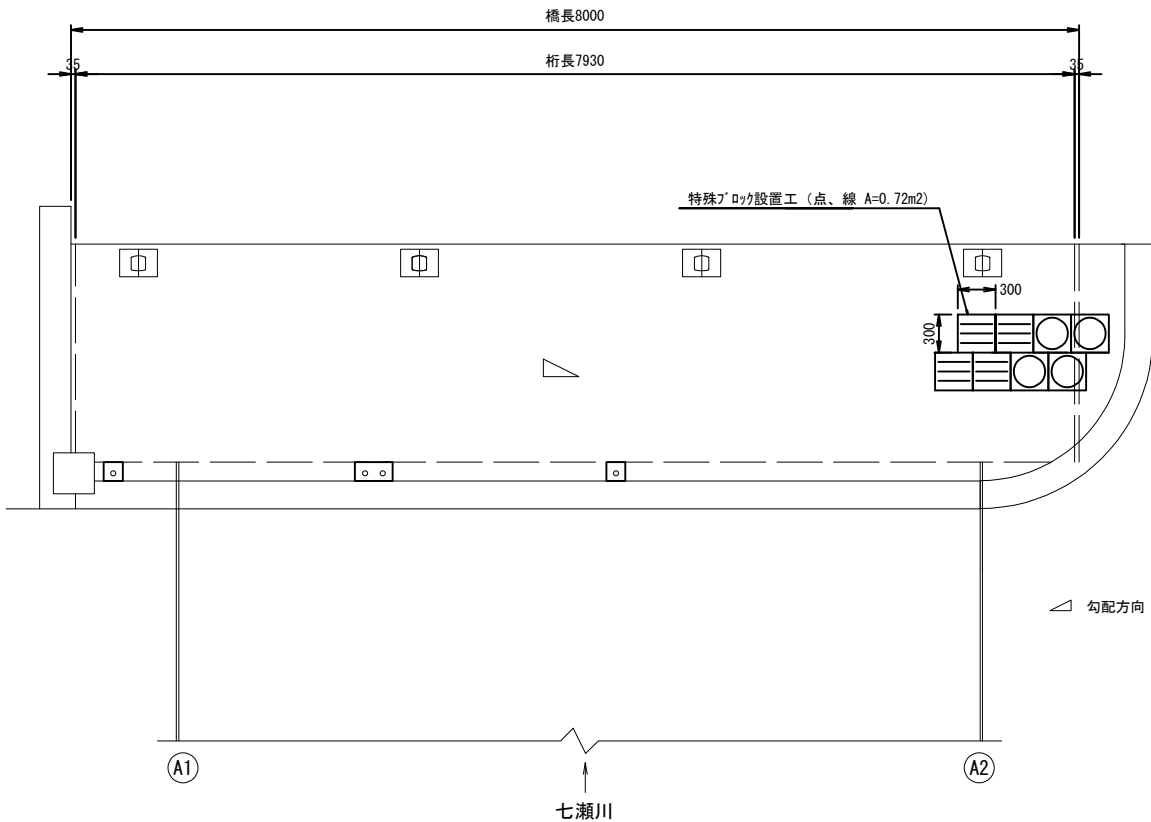
工 事 名	藤ノ森橋他2橋補工工事		
工事場所	京都市伏見区直道橋南1丁目他地内		
図 面 名	新谷口橋 補修工図(5)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	14 / 25
京都市建設局土木管理部橋りよう健全推進課			

新谷口橋 補修工図(6)
特殊ブロック設置工

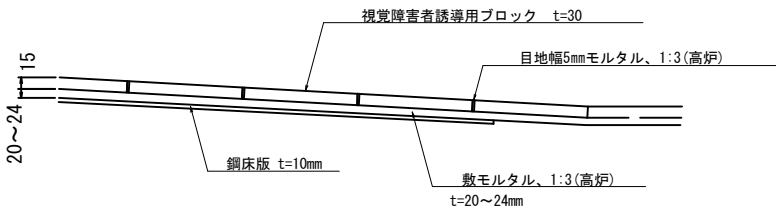
撤去平面図(側道橋) S=1:30



復旧平面図(側道橋) S=1:30



特殊ブロック詳細図 S=1:5



特殊ブロック設置工 数量表

(1橋当り)

細 別	規 格	単 位	数 量	摘 要
構造物とりこわし工	誘導ブロック、コンクリート製、300×300×30	m3	0.022	点状・線状
視覚障害者誘導用ブロック設置	誘導ブロック、コンクリート製、300×300×30	m2	0.720	点状・線状

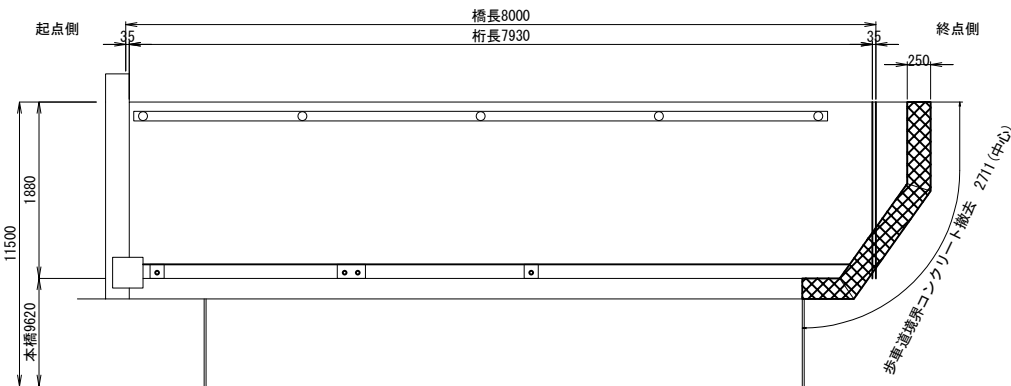
注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものであるため、
図中詳細寸法等は現地計測のうえ決定すること。
2. 視覚障害者誘導用ブロックの設置箇所は、監督職員と協議して決定すること。

工 事 名	藤ノ森橋他2橋補修工事			
工事場所	京都市伏見区直達橋南1丁目他地内			
図 面 名	新谷口橋 補修工図(6)			
事業年度	令和8年度			
縮 尺	図 示	図面番号	15 / 25	
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課				

新谷口橋 補修工図(7)

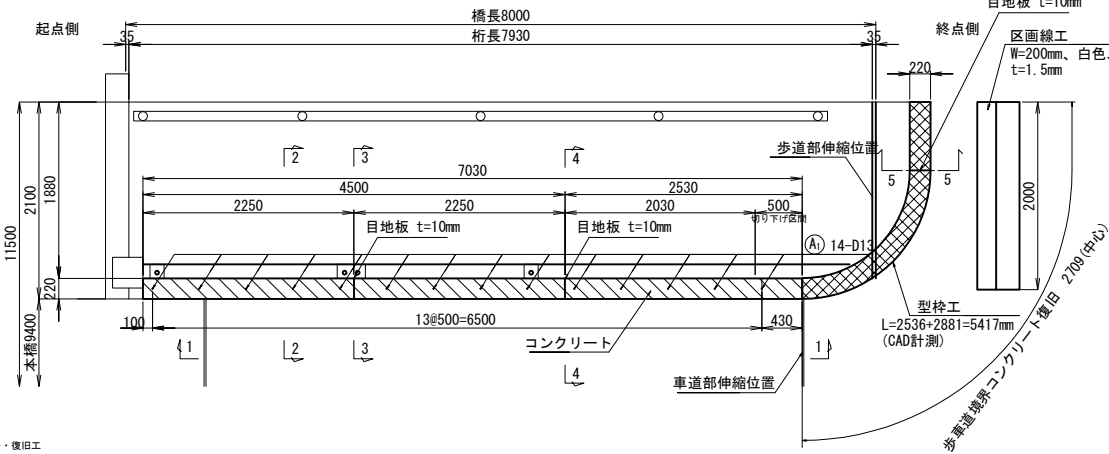
縁石嵩上げ工、歩車道境界コンクリート復旧工、区画線工

撤去平面図 S=1:40

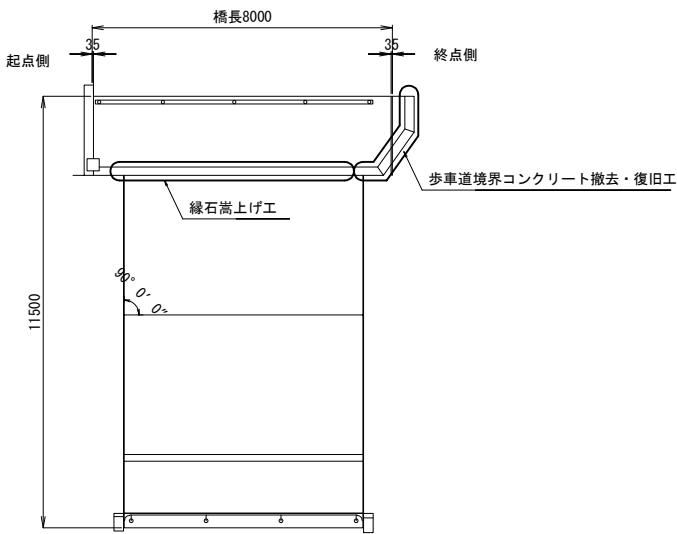


歩車道境界コンクリート撤去・復旧工
縁石嵩上げ工

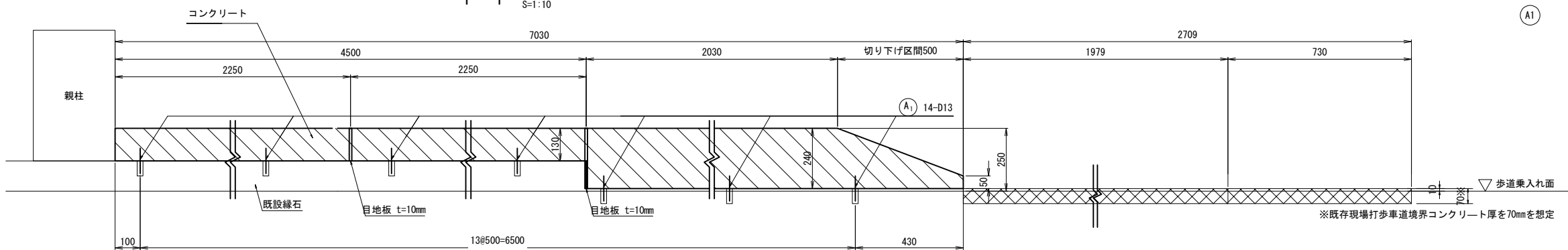
復旧平面図 S=1:40



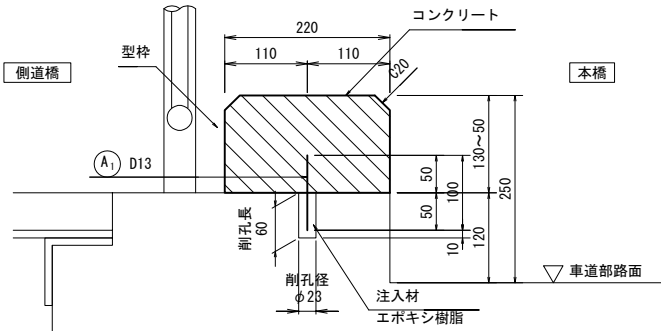
位置図 S=1:100



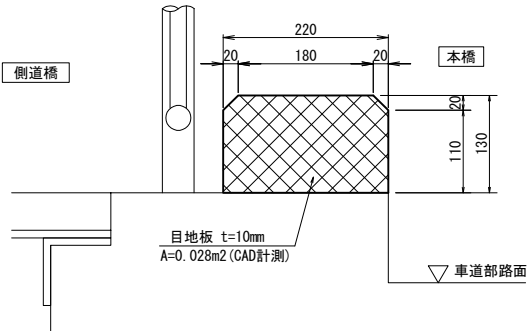
1 - 1 S=1:10



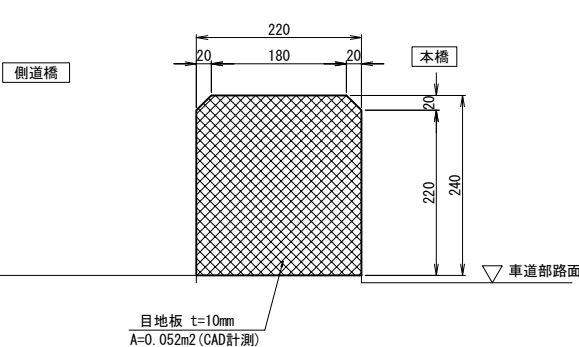
2 - 2 S=1:5



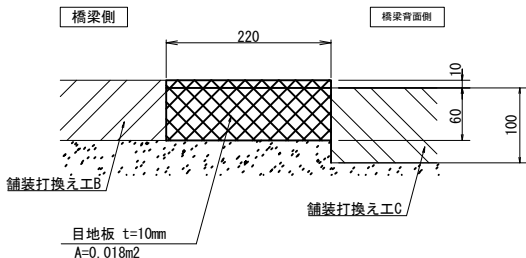
3 - 3 S=1:5



4 - 4 S=1:5



5 - 5 S=1:5



縁石嵩上げ工 数量表

細別	内訳	規格	単位	数量	備考
コンクリート工		18-8-40BB	m3	0.252	
型枠工		一般型枠、小型構造物	m2	2.300	
鋼材	鉄筋	D13 (SD345)	t	0.001	
アンカー設置	コンクリート削孔	φ23mm L=60mm	孔	14	
	注入材	エポキシ樹脂 (アルテコEP-1200同等品以上) 1180kg/m3	kg	0.35	ロス率15%
目地工	目地板	瀝青繊維質板、t=10mm	m2	0.080	

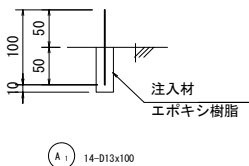
歩車道境界コンクリート撤去・復旧工 数量表

細別	内訳	規格	単位	数量	備考
構造物とりこわし工			m3	0.047	
型枠工		一般型枠、小型構造物	m2	0.381	
目地工	目地板	瀝青繊維質板、t=10mm	m2	0.018	
コンクリート工		18-8-40BB	m3	0.042	

区画線工 数量表

細別	内訳	規格	単位	数量	備考
区画線工		W=200mm、白色、実線、t=1.5mm	m	2.000	

鉄筋加工図 S=1:5



鉄筋表

符号	径	長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg/m)	質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
A1	D13	100	14	0.995	0.10	1	—
D13 (SD345)							1 kg

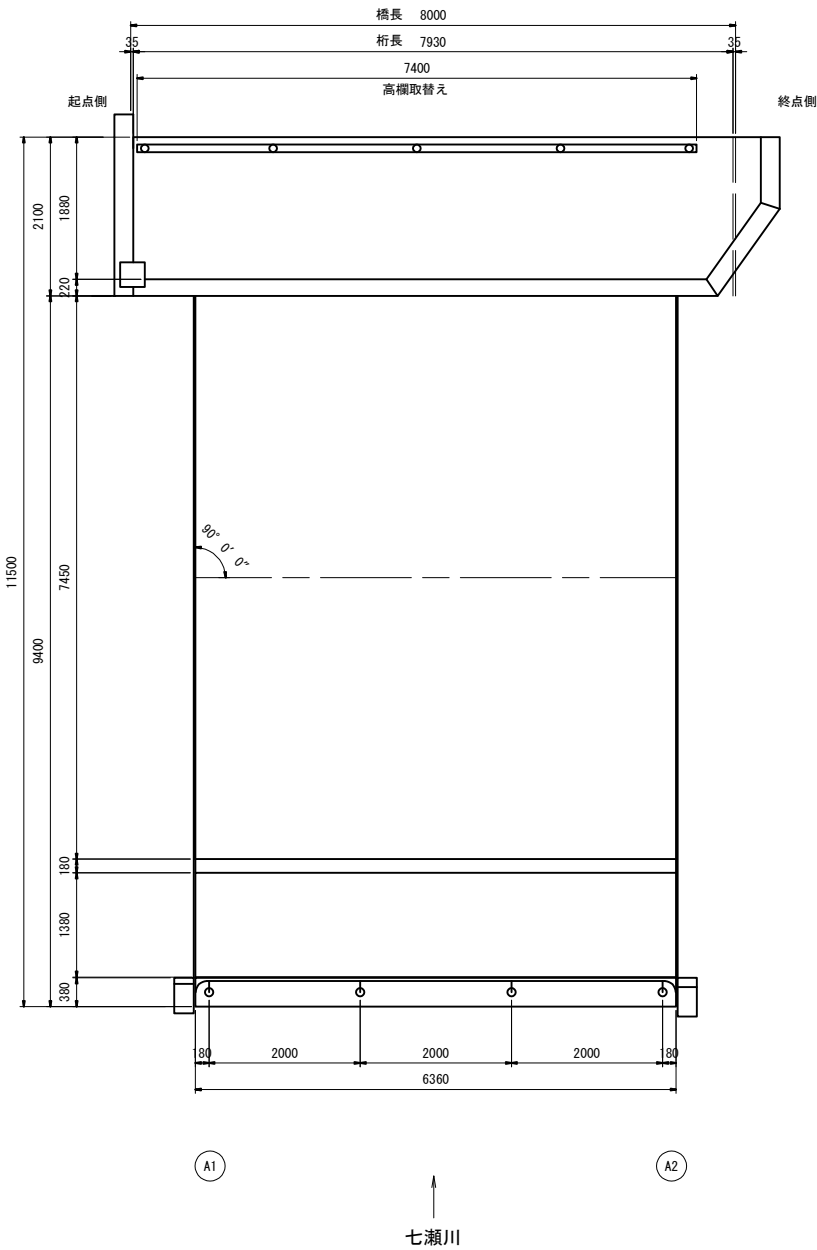
- 注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものであるため、
図中詳細寸法等は現地計測のうえ決定すること。
2. 既設縁石にはチッピングを施すこと。
3. 既設縁石との取り合いは現地合わせとす。
4. 歩車道境界コンクリートを打設する前に、撤去後の状況を監督職員と確認すること。

工 事 名	藤ノ森橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区直達橋南1丁目他地内		
図 面 名	新谷口橋 補修工図(7)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	16 / 25
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

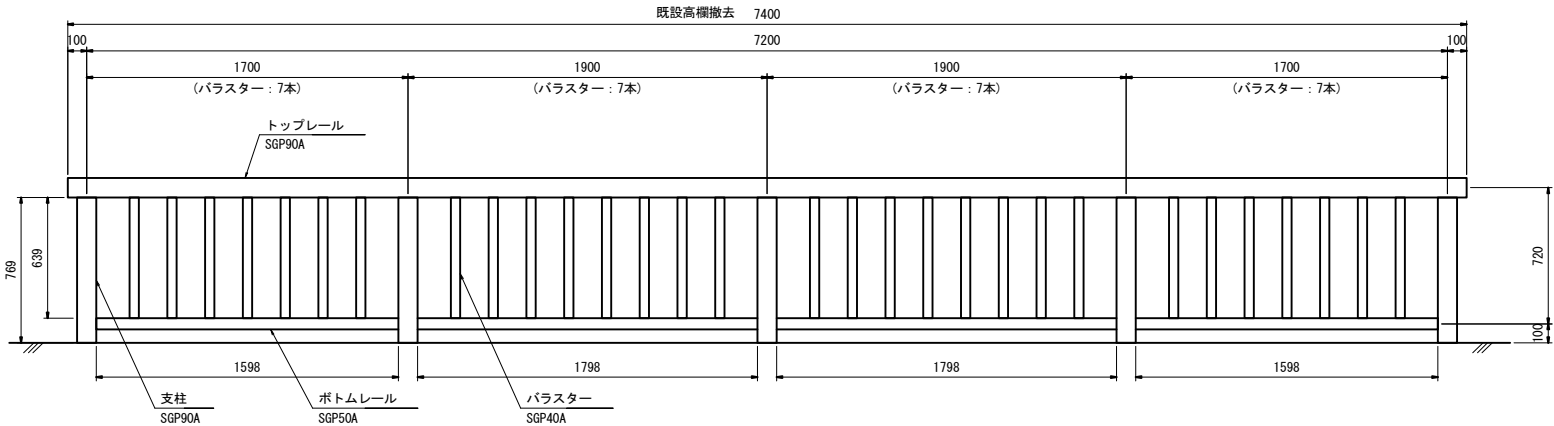
新谷口橋 補修工図(8)

高欄取替え工：既設高欄撤去

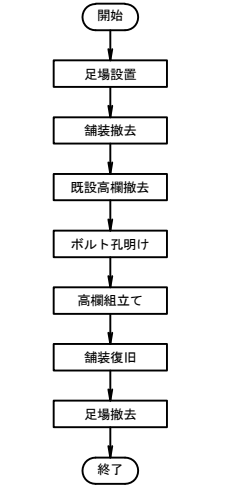
平面図 S=1:50



既設高欄姿図 S=1:20



高欄取替え工
作業フローチャート



※足場の設置撤去、舗装撤去、復旧は全体工事工程に合わせて対応する。

高欄取替え工 数量表

細別	規格	単位	数量	備考
既設高欄撤去	鋼管製高欄	m	7.400	
		kg	219.2	
高欄組立	7&3製ハフィン型高欄H=1180格子仕様、HT-15R1-11K同等品以上	m	7.400	グレー塗装仕様
現場孔明	φ28mm、t=25mm、SS400	孔	16	

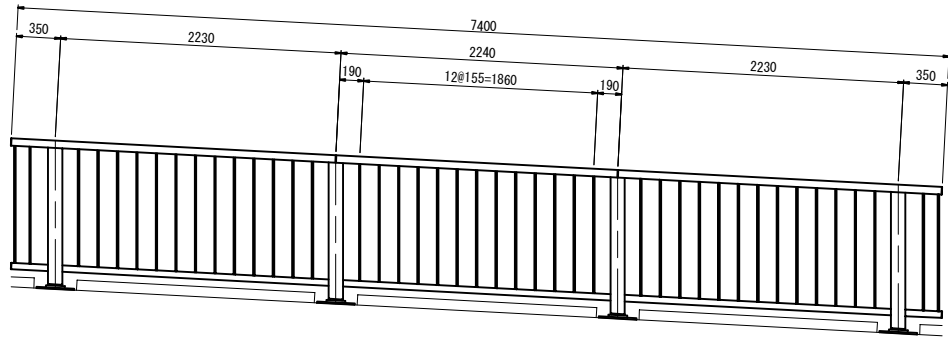
注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものであるため、
図中詳細寸法等は現地計測のうえ決定すること。
2. 特記なき材質は全てSS400とする。

工 事 名	藤ノ森橋他2橋補工事		
工事場所	京都市伏見区直達橋南1丁目地内		
図 面 名	新谷口橋 補修工図(8)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	17 / 25
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

高欄取替え工：高欄組立

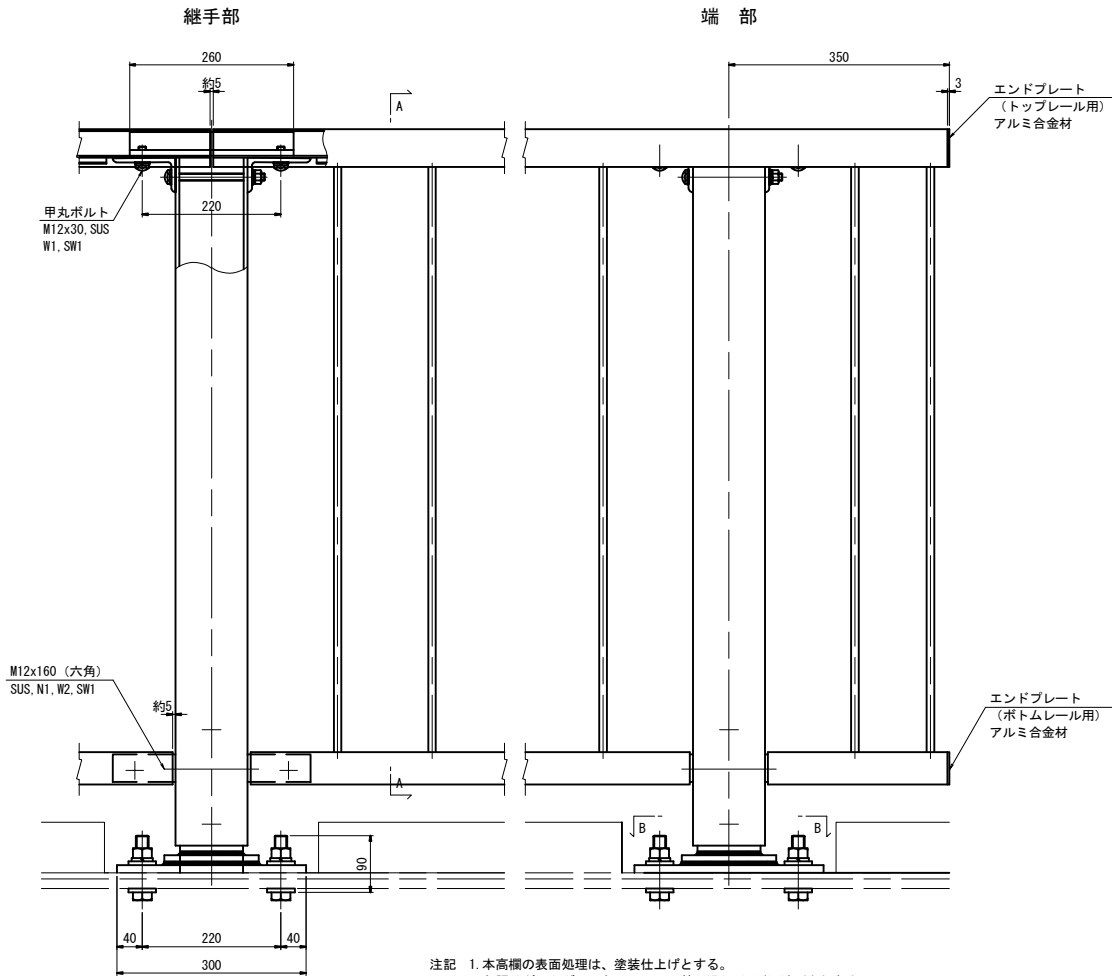
姿 図 S=1:30

矢視A-A



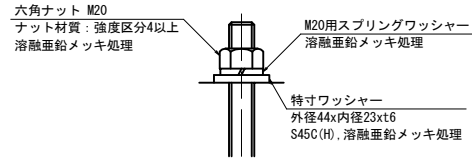
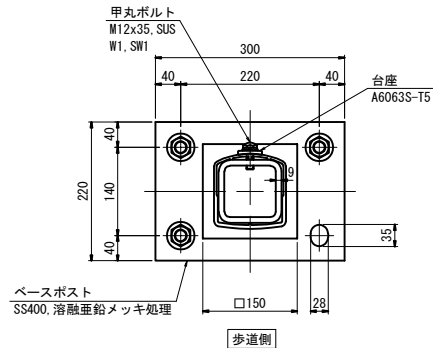
- 注記 1. 記入寸法はポストセンター押さえとし、実長で示す。
2. 図中 □、■ 印はポスト取付位置を示し、
□ 印はトップレール通し部を、■ 印は継手部を示す。
3. 縦断勾配については確認の事。

勾配部定着詳細図



- 注記 1. 本高棚の表面処理は、塗装仕上げとする。
色調はダークグレー色（マンセル値10YR2.3、0.0、2.相当）とする。
ベースポストは溶融鉛至めっき（HDZT49）＋塗装処理とする。
2. 本高棚の設計・製作担当は（社）日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成
「アルミニウム合金製橋梁用防護欄設計要領」（平成30年6月）による。
3. 強度区分の表記は本高棚の種類はA2-50以上とする。（平成21年、ビヤ類はA2とする）

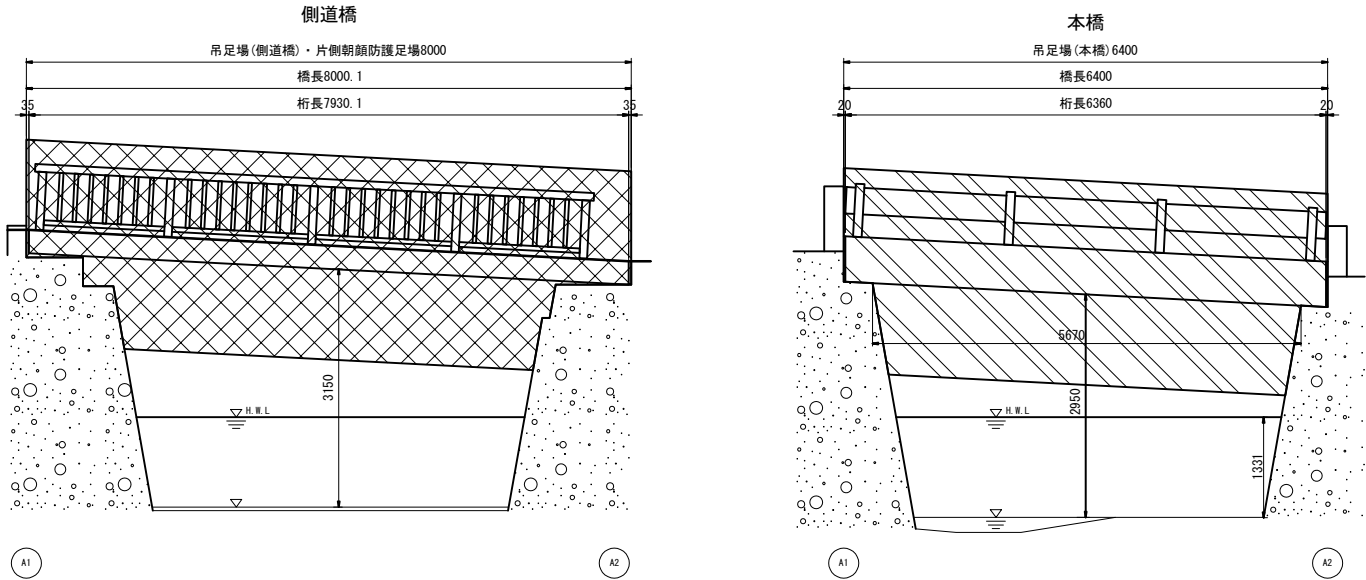
断面 B—B



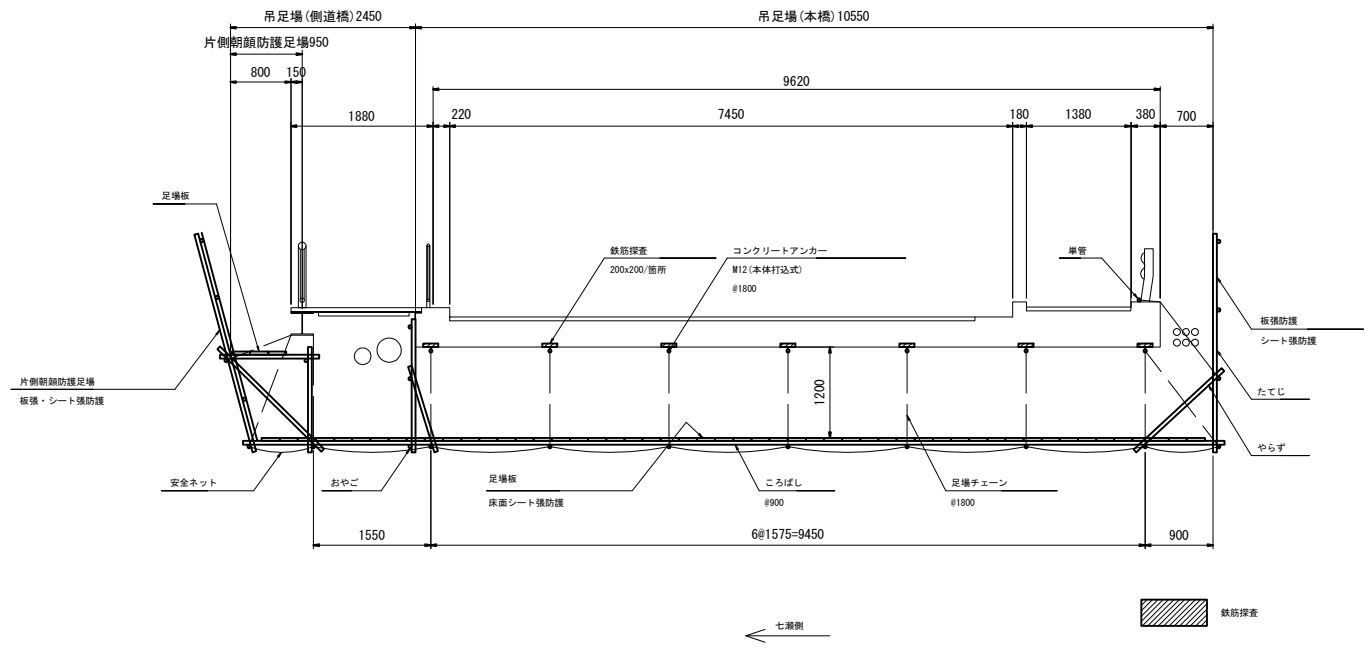
工 事 名	藤ノ森橋他2橋補工事		
工事場所	京都市伏見区直達橋南1丁目他地内		
図 面 名	新谷口橋 補修工図 (9)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	18 / 25
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

新谷口橋 足場工図(参考図)

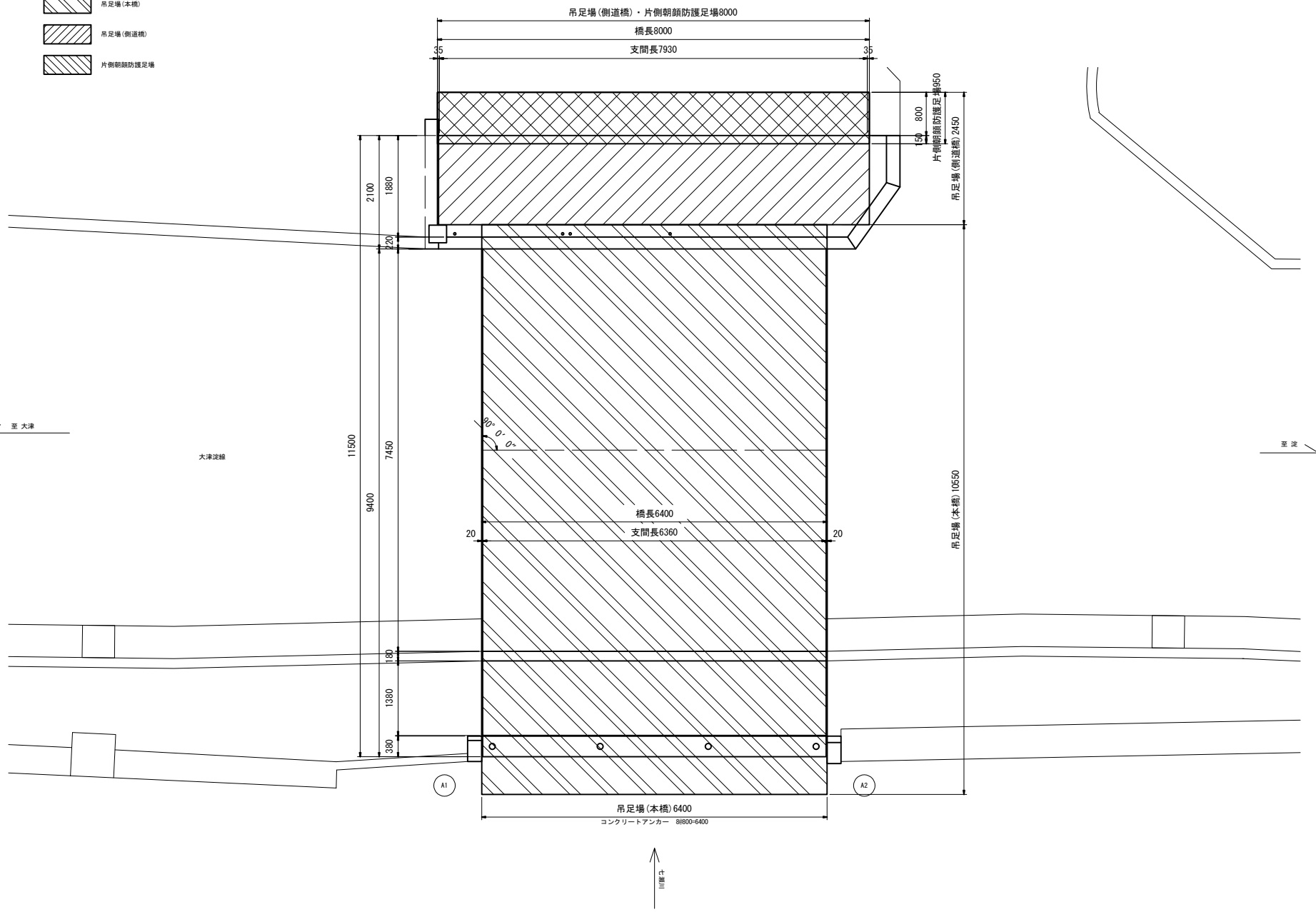
側面図 S=1:50



断面図 S=1:50



平面図 S=1:50



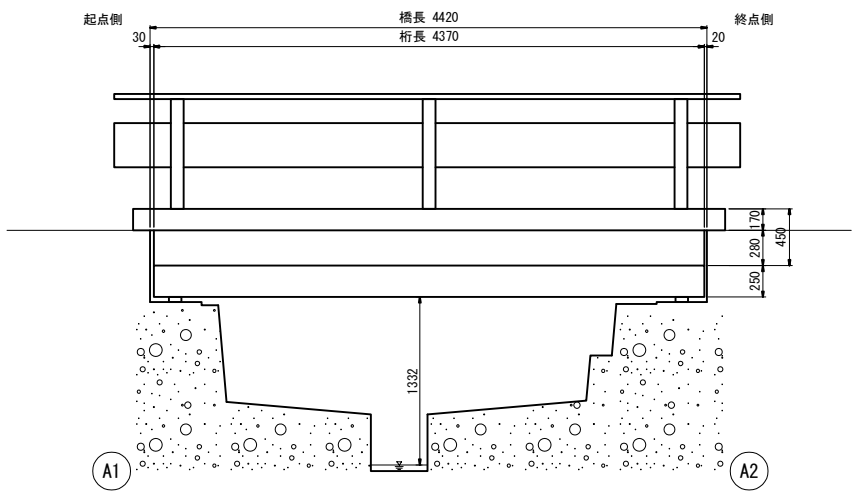
足場工 数量表

細目	規格	単位	数量	備考
吊足場 (本橋)	タイプA1、床面シート張防護、タイプB (片側朝顔)	m2	67.5	
吊足場 (側道橋)	タイプA1、床面シート張防護	m2	15.0	
片側朝顔防護足場	タイプE (板張・シート張防護)	m2	7.6	
コンクリートアンカー	M12 (本体打込式)	本	56	
鉄筋探索	上向き	m2	2.2	
掘式透膜制漏利工養生シート工		m2	22.6	

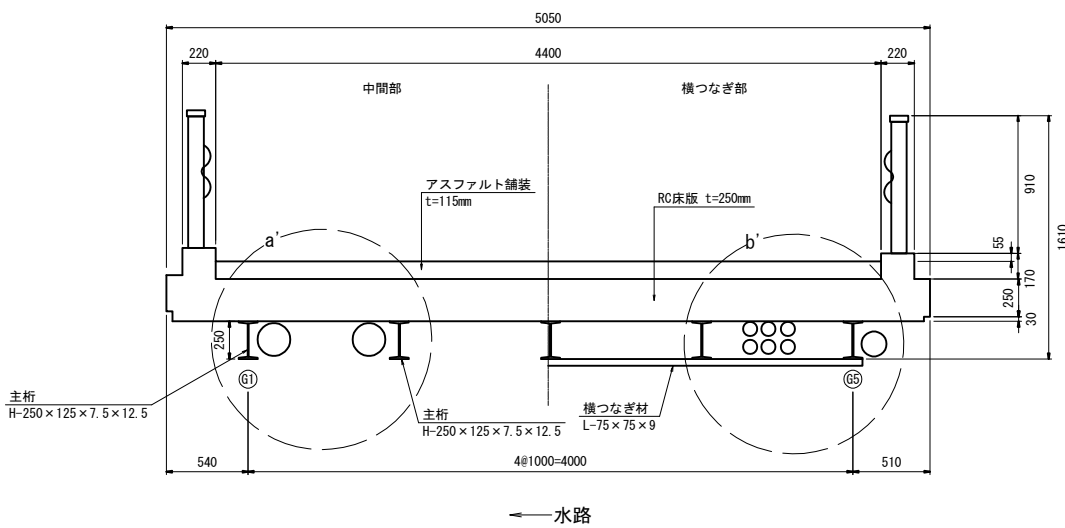
注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものであるため、図中詳細寸法等は現地計測のうえ決定すること。
2. 使用足場は参考であり、現地状況に応じて決定すること。
3. コンクリートアンカー打込箇所の周辺200×200の範囲で鉄筋探索を行い、鉄筋の位置を確認すること。

見附橋 橋梁一般図

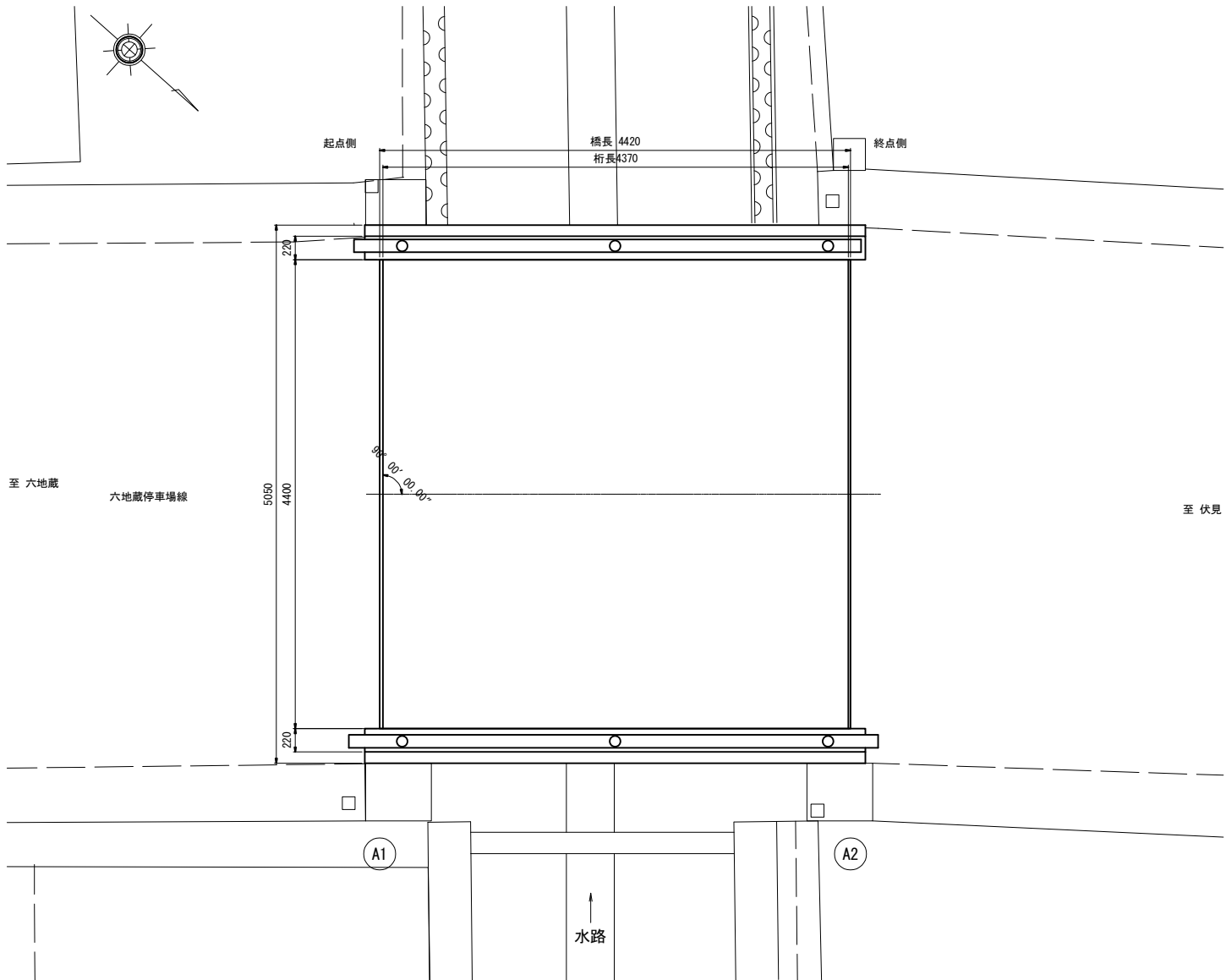
側面図 S=1:30



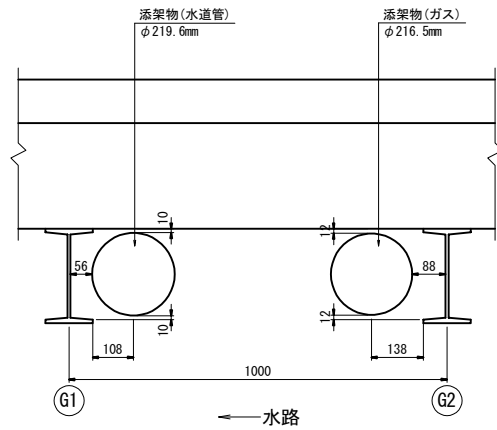
断面図 S=1:25



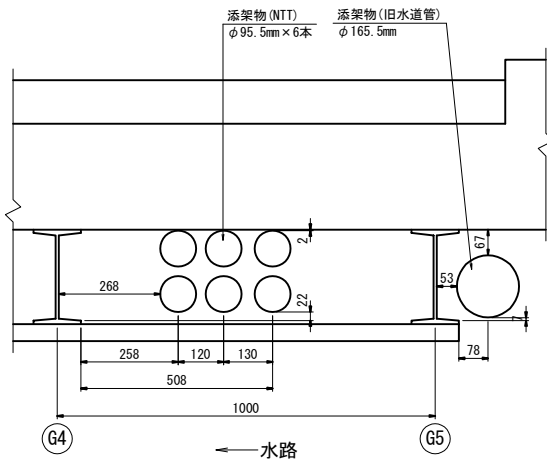
平面図 S=1:30



a' 部詳細図



b' 部詳細図

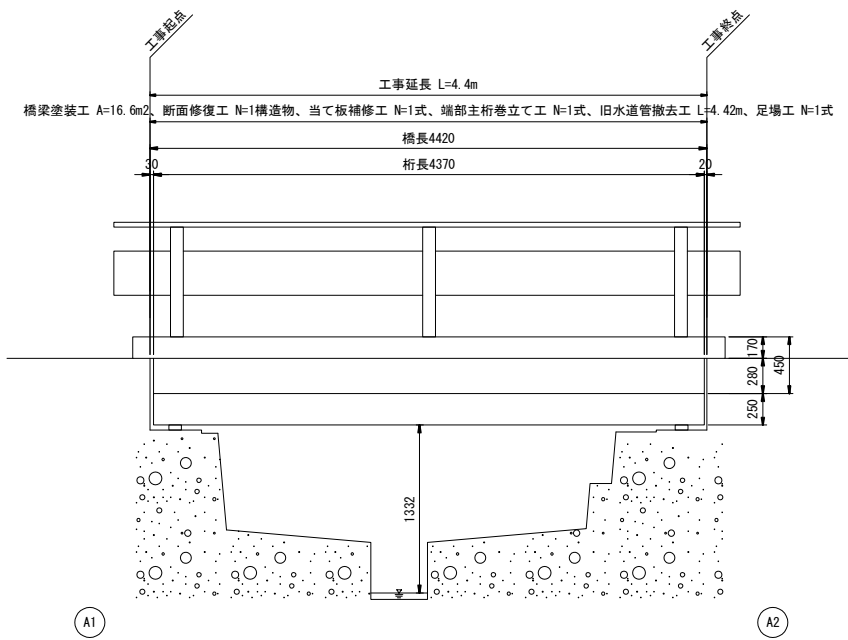


設 計 条 件		
橋 長	4. 420m	
桁 長	4. 370m	
有 効 幅 員	4. 400m	
全 幅 員	5. 050m	
斜 角	90°	
舗 装	アスファルト舗装	
上 部 工 形 式	単純H形鋼橋	
下 部 工 形 式	不明	
基 礎 形 式	不明	
竣 工 年 月	昭和9年(1934年) 89年経過	

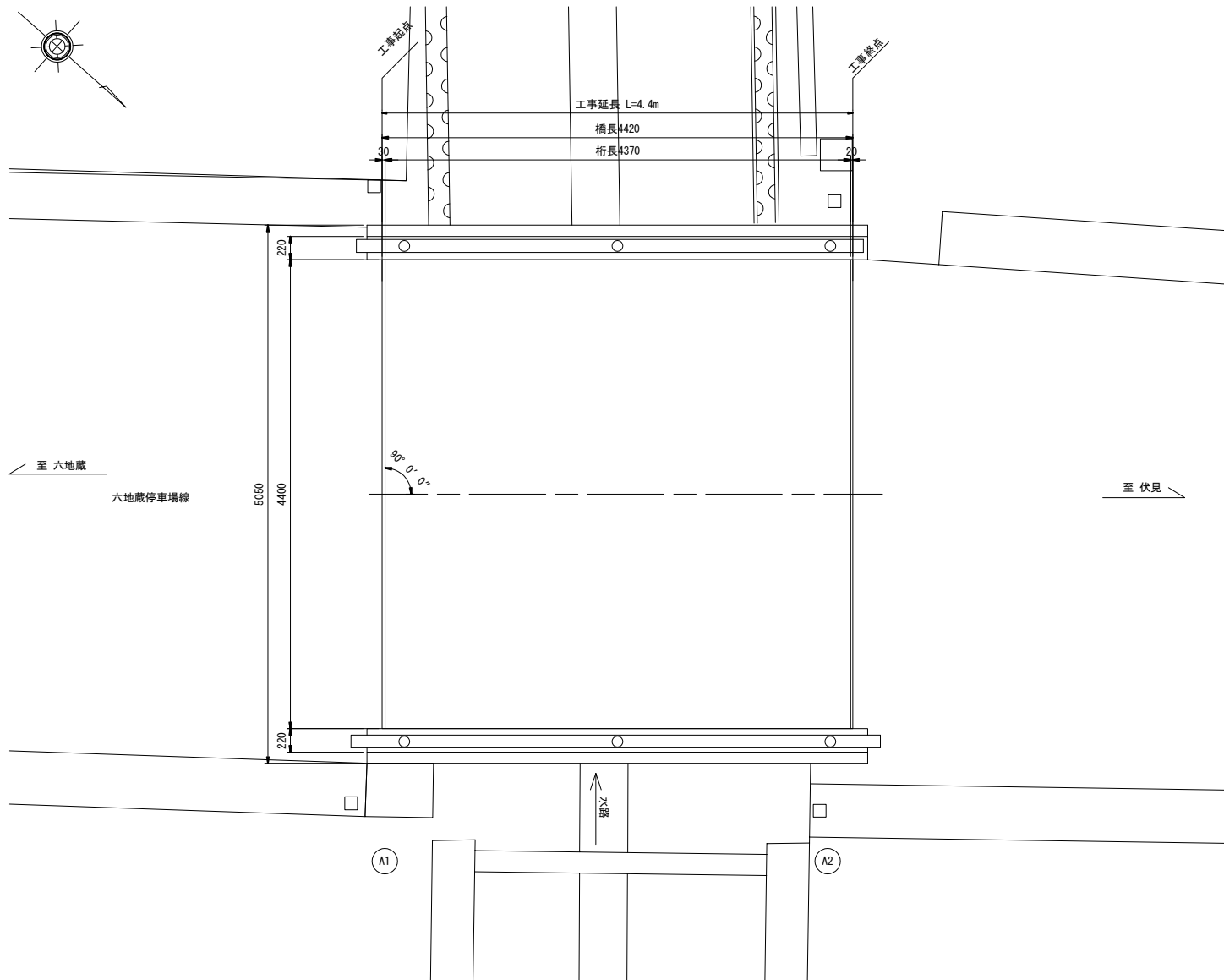
工 事 名	藤ノ森橋他2橋補工事		
工事場所	京都市伏見区直達橋南1丁目他地内		
図 面 名	見附橋 橋梁一般図		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	20 / 25
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

見附橋 補修一般図

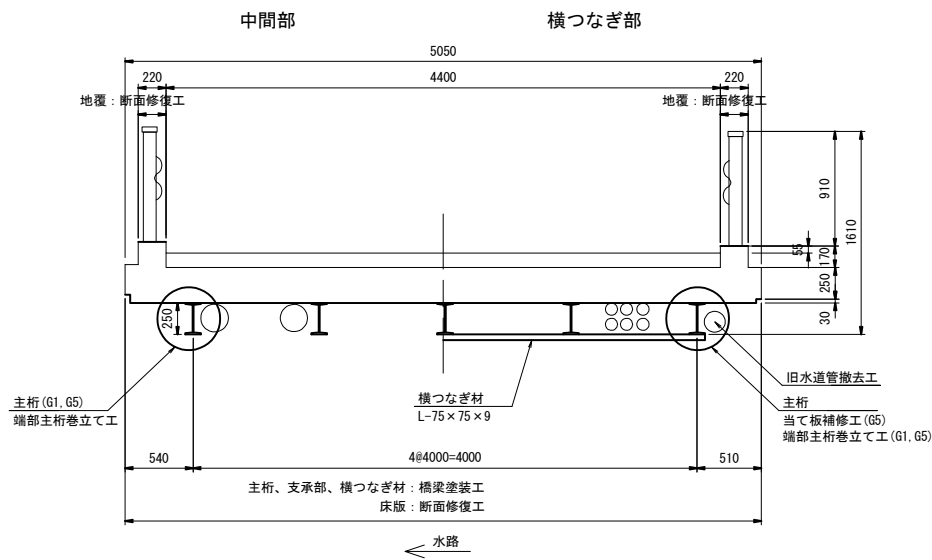
側面図 S=1:30



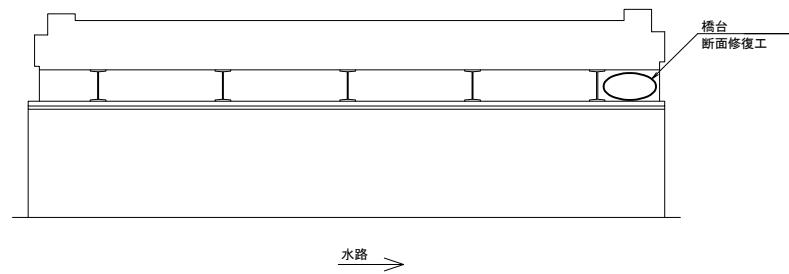
平面図 S=1:30



断面図 S=1:30



A1橋台 S=1:30



補修項目一覧表

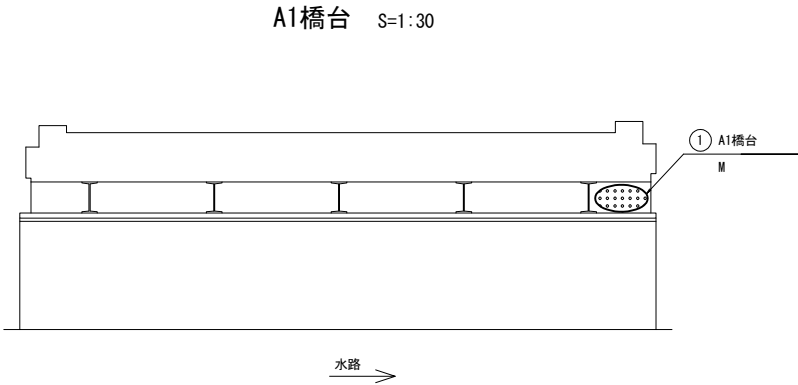
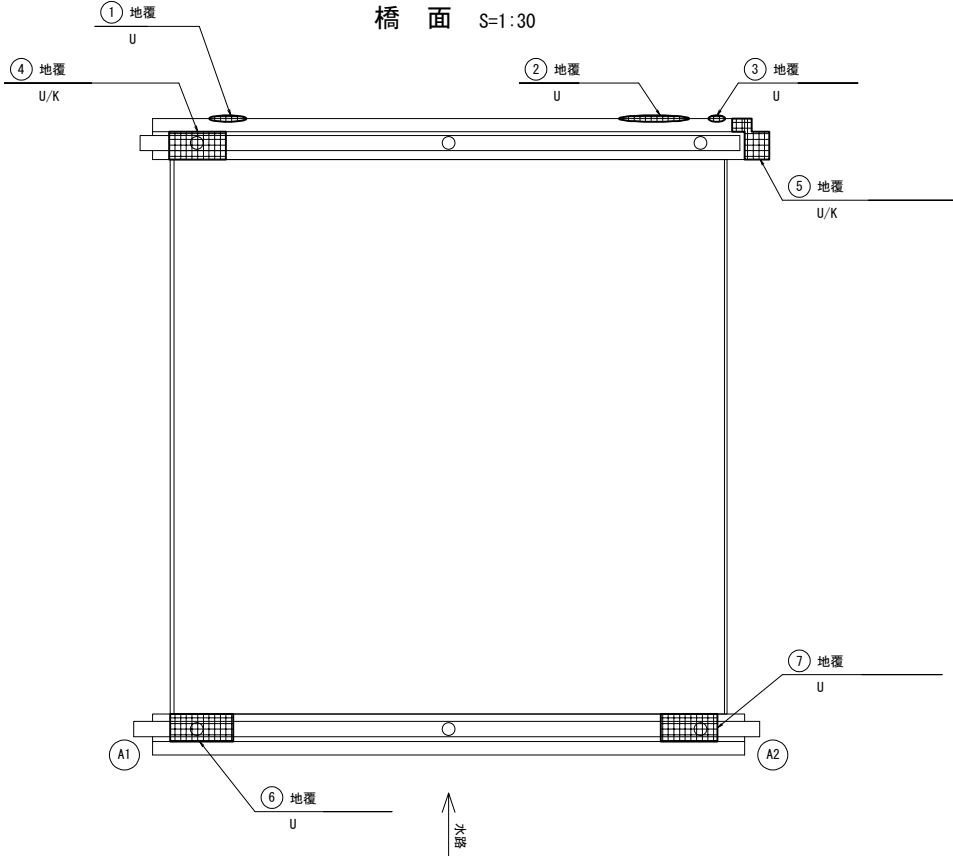
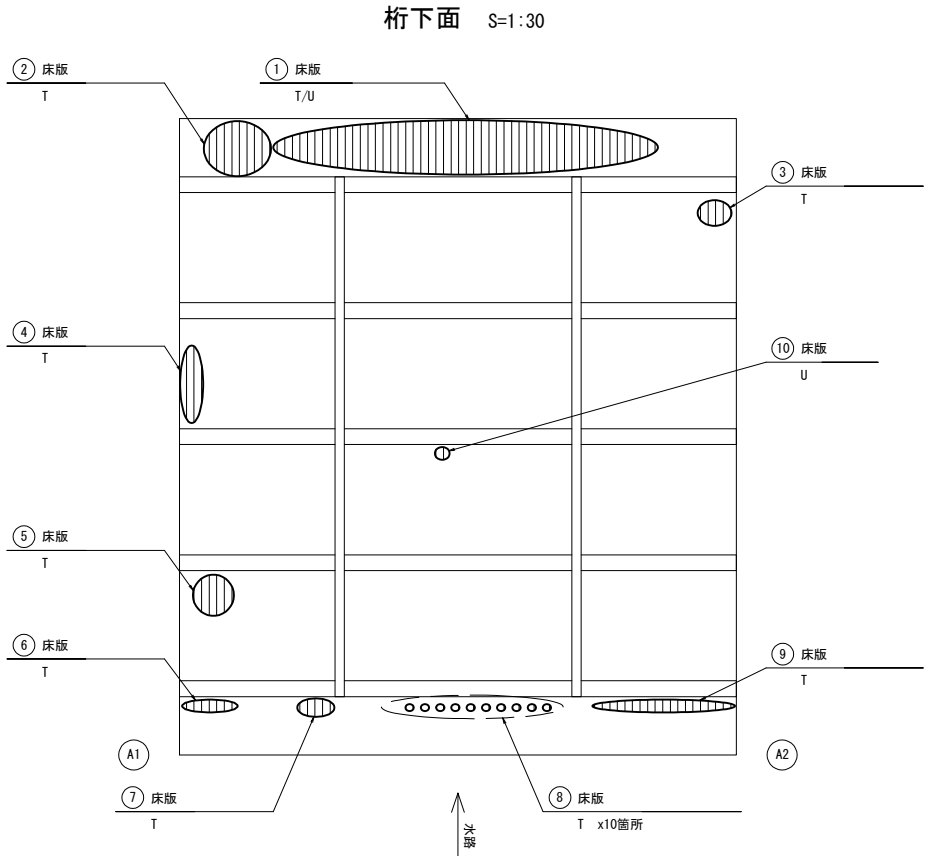
対象部材	対策工
主桁	橋梁塗装工、当て板補修工、端部主桁巻立て工
床版	断面修復工
支承部、横つなぎ材	橋梁塗装工
地覆	断面修復工
橋台	断面修復工
その他	旧水道管撤去工

注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものである。
作図にあたり測量は実施していない。

工 事 名	藤ノ森橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区直達橋南1丁目他地内		
図 面 名	見附橋 補修一般図		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	21 / 25
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

見附橋 補修工図(1)

断面修復工



損傷の凡例

記号	損傷の種類	表示
T	鉄筋露出	
U	うき	
K	欠損	
M	豆板	

※ 損傷の寸法
00x00：損傷長さ×幅(mm)

※ 補修区分
○：数字は断面修復工(左官工法)箇所

断面修復工 数量内訳

・桁下面

番号	防錆処理	補修箇所	損傷種類	長さ(m)	幅(m)	はつり深さ(m)	箇所	体積(m3)
①	有	床版	鉄筋露出, うき	3.400	0.450	0.070	1	0.1071
②	有	床版	鉄筋露出	0.350	0.350	0.050	1	0.0061
③	有	床版	鉄筋露出	0.500	0.500	0.070	1	0.0175
④	有	床版	鉄筋露出	0.700	0.300	0.050	1	0.0105
⑤	有	床版	鉄筋露出	0.400	0.300	0.070	1	0.0084
⑥	有	床版	鉄筋露出	0.400	0.200	0.050	1	0.0040
⑦	有	床版	鉄筋露出	0.300	0.150	0.050	1	0.0023
⑧	有	床版	鉄筋露出	0.050	0.050	0.050	10	0.0013
⑨	有	床版	鉄筋露出	0.900	0.150	0.050	1	0.0068
⑩	有	床版	うき	0.200	0.200	0.050	1	0.0020
桁下面 小計(防錆処理有)								0.1660
桁下面 小計(防錆処理無)								-

・橋面

番号	防錆処理	補修箇所	損傷種類	長さ(m)	幅(m)	はつり深さ(m)	箇所	体積(m3)
①	有	地覆	うき	0.750	0.050	0.050	1	0.0019
②	有	地覆	うき	1.000	0.250	0.050	1	0.0125
③	有	地覆	うき	0.350	0.100	0.050	1	0.0018
④	有	地覆	うき, 欠損	0.450	0.220	0.050	1	0.0050
⑤	有	地覆	うき, 欠損	0.700	0.300	0.050	1	0.0105
⑥	有	地覆	うき	0.500	0.220	0.050	1	0.0055
⑦	有	地覆	うき	0.450	0.220	0.050	1	0.0050
橋面 小計(防錆処理有)								0.0422
橋面 小計(防錆処理無)								-

・橋台

番号	防錆処理	補修箇所	損傷種類	長さ(m)	幅(m)	はつり深さ(m)	箇所	体積(m3)
①	無	A1橋台	豆板	0.450	0.250	0.030	1	0.0034
橋台 小計(防錆処理有)								-
橋台 小計(防錆処理無)								0.0034

※ 鉄筋露出のはつり深さは、最小値50mm、または実測値とする。

※ うきのはつり深さは、実測深さを50mmと想定する。

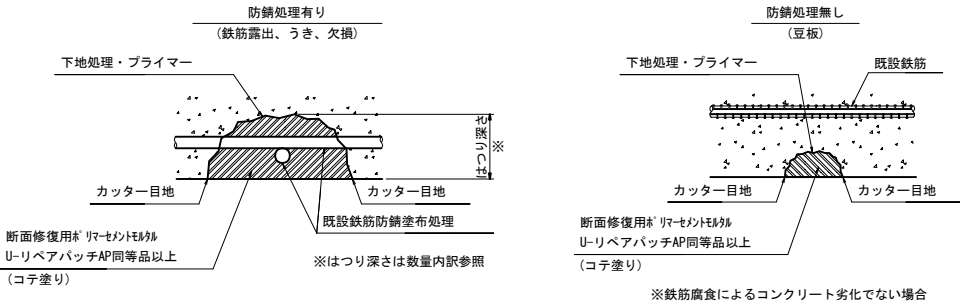
※ 剥離のはつり深さは、実測値とする。

※ 豆板のはつり深さは、深さ計測のある場合実測値、ない場合30mmと想定する。

・集計表

補修箇所	体積(m3)	
	防錆処理有	防錆処理無
桁下面	0.1660	-
橋 面	0.0422	-
橋 台	-	0.0034
合 計	0.208	0.003

断面修復工(左官工法)詳細図



断面修復工特記事項

- 断面修復はつり深さは、現地のコンクリート劣化状況により決定すること。
- 断面修復面積は、コンクリートの劣化状況により決定するものとし現地に確認すること。
- 断面修復の箇所のフェザーエッジを回避するため、コンクリートカッターで切れ目を入れること。

注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものであるため、図中詳細寸法等は現地計測のうえ決定すること。

2. ひびわれ補修数量に関しては、工事の際に進行していることも推定されるため、損傷範囲を現地計測し決定すること。

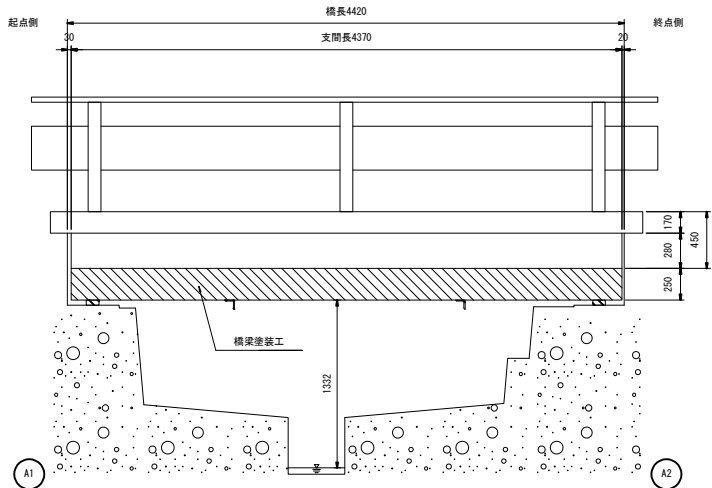
3. 断面修復工は左官工法とするが、状況に応じて型枠を設置すること。

工 事 名	藤ノ森橋他2橋補工事		
工事場所	京都市伏見区直達橋南1丁目他地内		
図 面 名	見附橋 補修工図(1)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	22 / 25
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

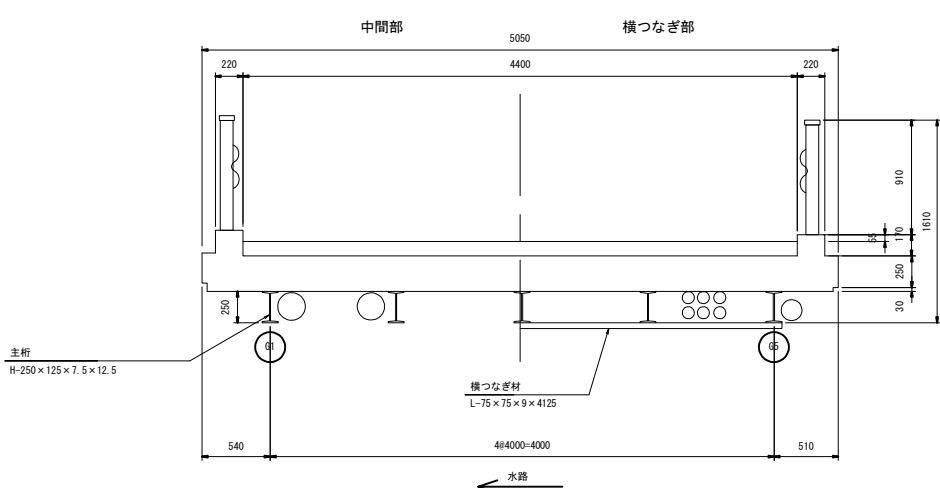
見附橋 補修工図(2)

橋梁塗装工

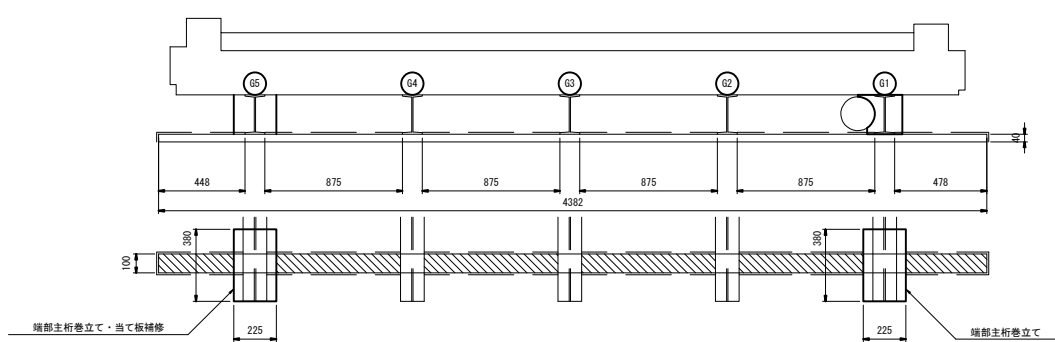
側面図 S=1:30



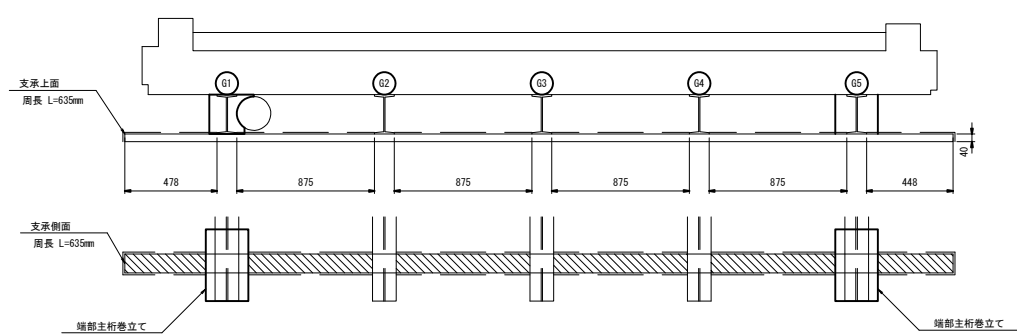
上部工断面図 S=1:30



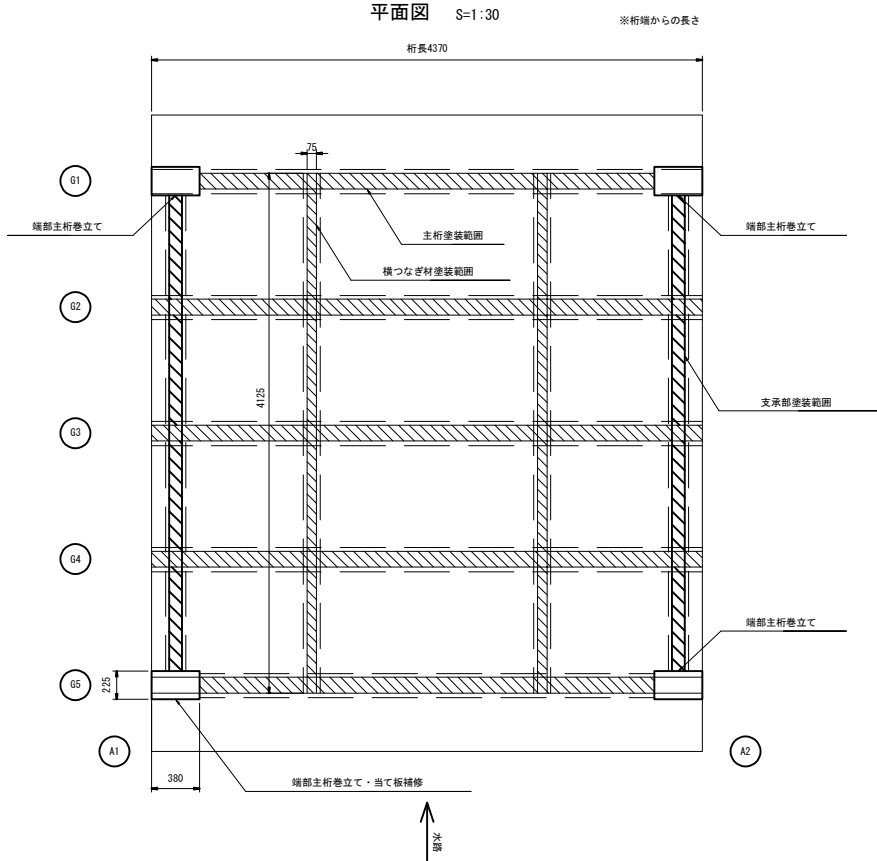
A1橋台支承部 断面図, 平面図 S=1:20



A2橋台支承部 断面図, 平面図 S=1:20

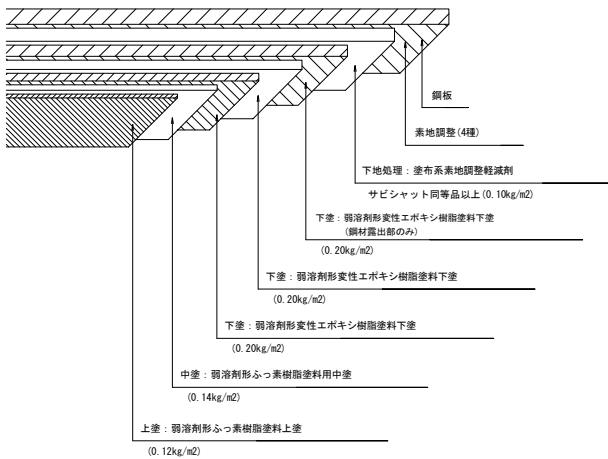


平面図 S=1:30



塗装要領図及び塗装仕様

塗布系素地調整軽減剤+Rc-Ⅲ塗装系



現場塗装(既設部材)：塗布系素地調整軽減剤+Rc-Ⅲ塗装系（はけ、ローラー）

塗装工程	仕 様	使用量 (g/m ²)	塗膜厚	塗装間隔
1	素地調整	4種ケレン		
2	下地処理	塗布系素地調整軽減剤（サビシャット同等品以上）	100	—
3	下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗（鋼材露出部のみ）	(200)	75 μm
4	下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	60 μm
5	下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	60 μm
6	中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	30 μm
7	上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用上塗	120	25 μm

鋼道路橋防食便覧 P.Ⅱ-118

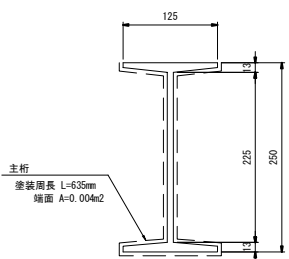
橋梁塗装工(Rc-Ⅲ塗装系) 数量表 (1橋当り)

塗装工程	単位	数 量	摘 要
素地調整	m ²	17.4	主桁+横つなぎ材+支承部
下地処理	m ²	17.4	主桁+横つなぎ材+支承部
Rc-Ⅲ塗装系	m ²	16.4	主桁+横つなぎ材+支承部

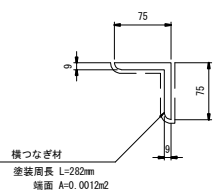
橋梁塗装工(F-11塗装系) 数量表 (1橋当り)

塗装工程	単位	数 量	摘 要
素地調整	m ²	0.2	当て板材
F-11塗装系	m ²	0.2	当て板材

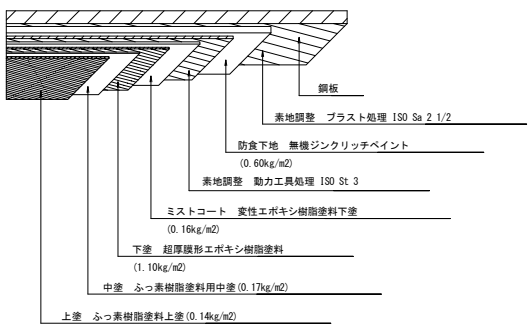
主桁断面図 S=1:5



横つなぎ材断面図 S=1:5



F-11塗装系



現場塗装(新設部材)：F-11塗装系(スプレー)

塗装工程	仕 様	使用量	塗膜厚	塗装間隔
製作工場	1	素地調整	ブラスト処理 ISO Sa 2 1/2	
2	防食下地	無機ジンクリッチペイント	0.60kg/m ²	75 μm
現場	1	素地調整	動力工具処理 ISO St 3	
2	ミストコート	変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.16kg/m ²	
3	下塗り	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	1.10kg/m ²	300 μm
4	中塗り	ふっ素樹脂塗料用中塗	0.17kg/m ²	30 μm
5	上塗り	ふっ素樹脂塗料用上塗	0.14kg/m ²	25 μm

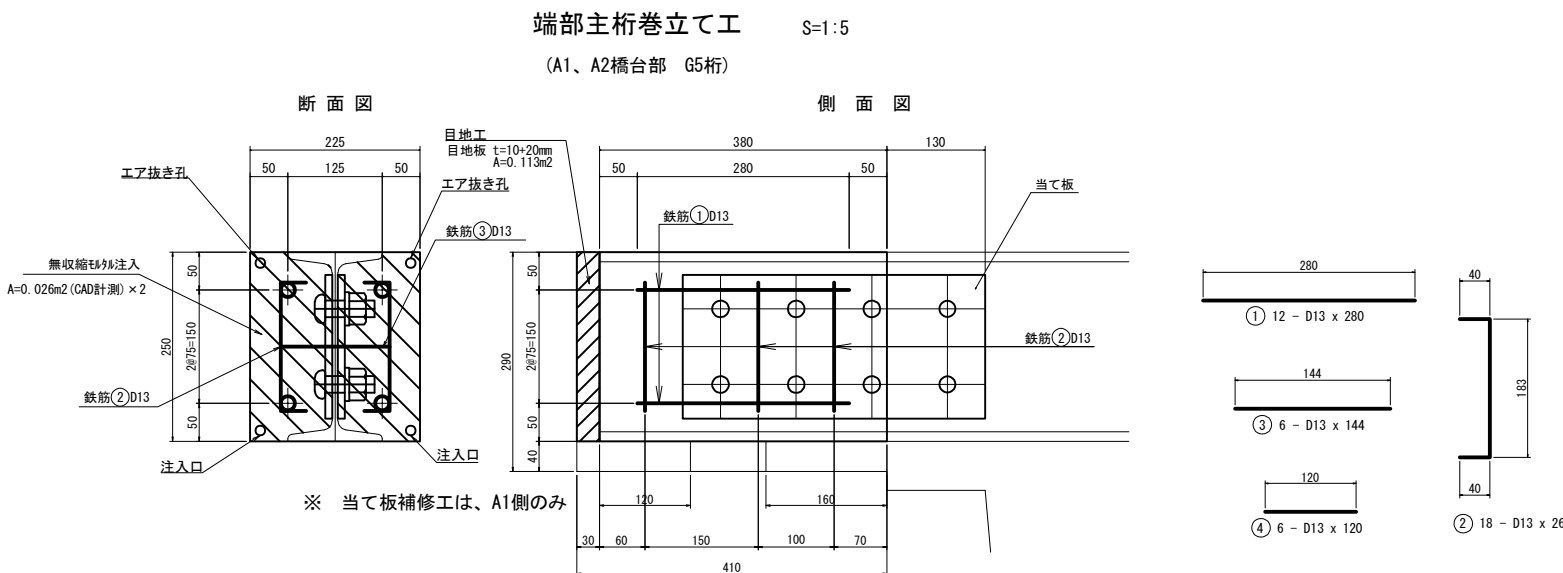
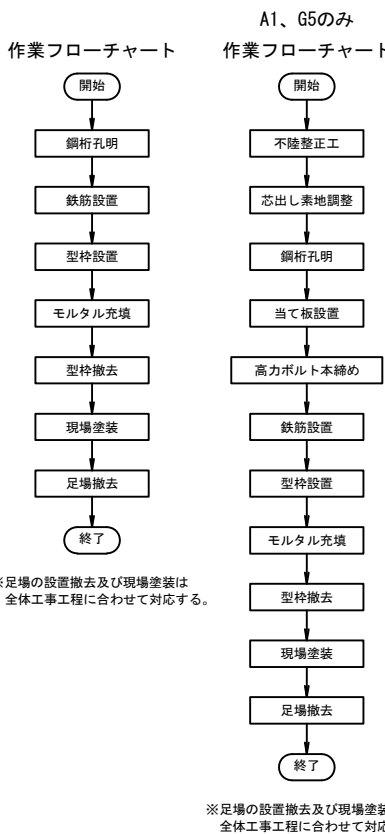
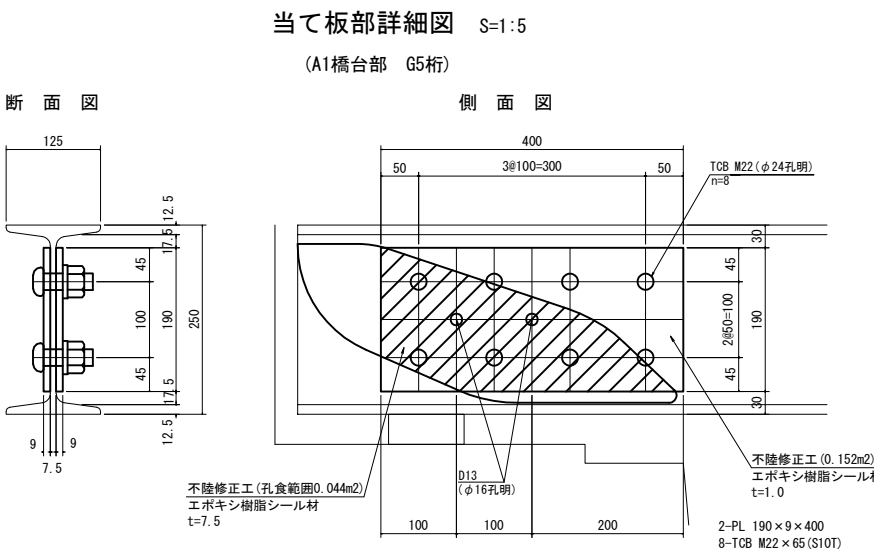
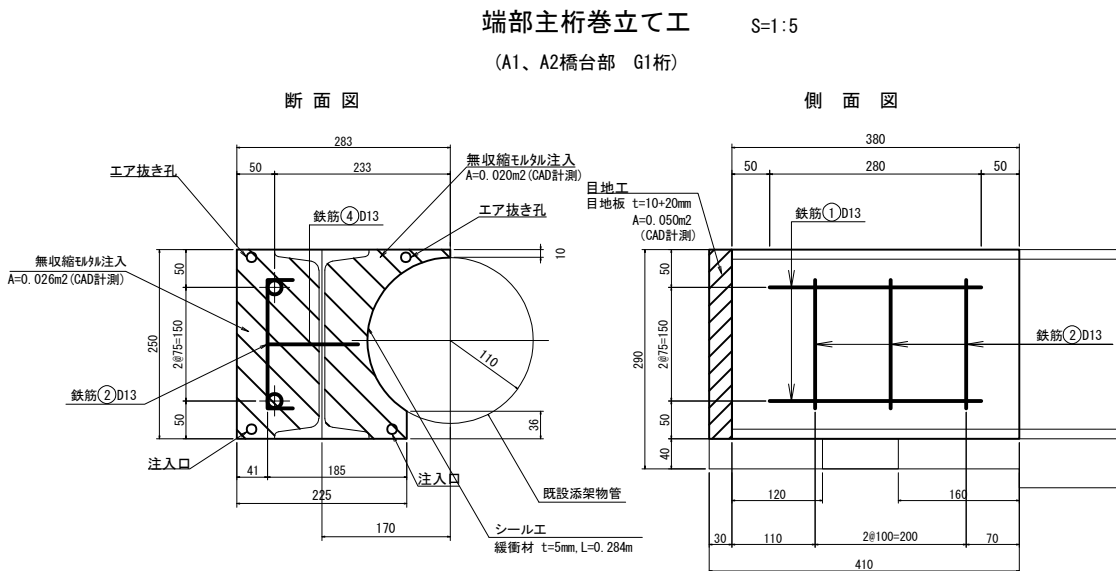
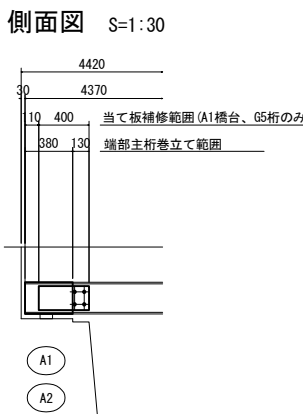
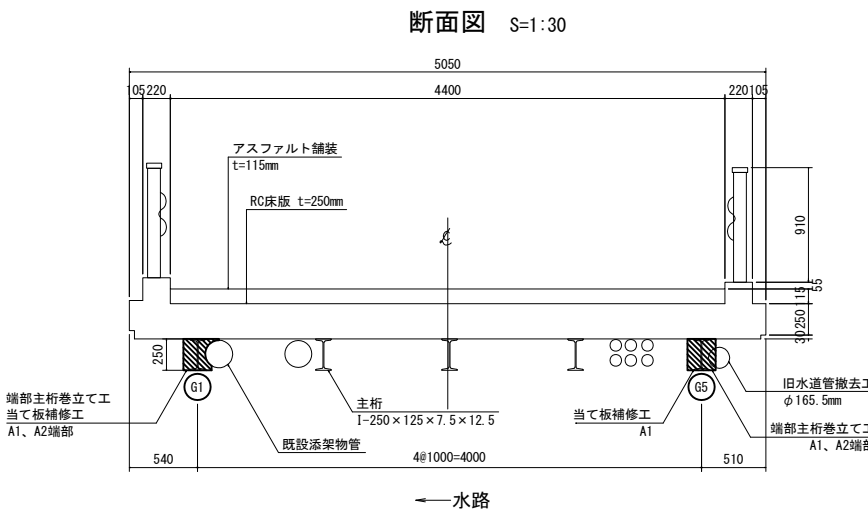
鋼道路橋防食便覧 P.Ⅱ-118

- 注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものであるため、図中詳細寸法等は現地計測のうえ決定すること。
3. 補修で新設部材となる箇所の塗装は、既設部材と同じ鍍転換型補修とする。新設部材の次回塗装の仕様が同じとなるよう既設の塗装系と同じとする。

工 事 名	藤ノ森橋他2橋補工事		
工事場所	京都市伏見区直道橋南1丁目地内		
図 面 名	見附橋 補修工図(2)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	23 / 25
京都市建設局土木管理部橋りよう健全推進課			

見附橋 補修工図(3)

当て板補修工・端部主桁巻立て工・旧水道管撤去工

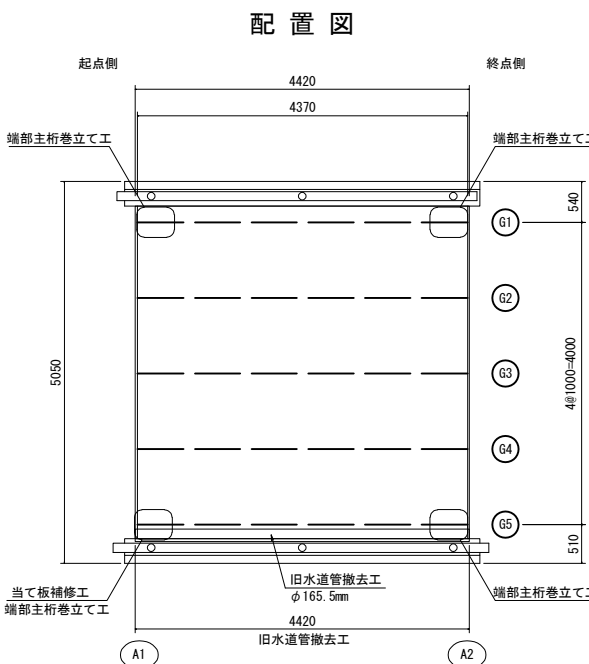


							(1橋当たり)
記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量 (kg)	形 状
1	D 13	280	12	0.995	0.28	4	—
2	D 13	263	18	0.995	0.26	5	J
3	D 13	144	6	0.995	0.14	1	—
4	D 13	120	6	0.995	0.12	1	—
(SD345)				D13		11 kg	

(注)

1. 施工に際しては事前に現地計測を行い、損傷状況や部材寸法等を確認の上製作施工すること。
2. 現地施工時に腐食の進展が見られて被補修の対策範囲を越える可能性がある場合は、監督員と協議の上、別途補修対策を再度検討すること。
3. 特記なき材料は全てSS400とする。
4. 当て板補修工事の芯出し素地調整を行う際は、養生シート等により飛散防止を行うこと。

工 事 名	藤ノ森橋他2橋補工事		
工事場所	京都市伏見区直達橋南1丁目他地内		
図 面 名	見附橋 補修工図(3)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	24 / 25
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			



当て板補修工 数量表			(1橋当り)	
細 別	規 格	単 位	数 量	摘 要
芯出し調整工	2種ケレン相当	m2	0.207	
鋼桁孔明工	水平向き、TCB M22、φ24孔、t=7.5mm	箇所	8	
不陸修正工	エポキシ樹脂シール材(ギ'ンド'E25R同等品以上)	m2	0.196	0.675kg
補強部材取付工		部材	2	
鋼材	PL-190×9×400、SS400、φ16、φ24孔(工場孔明)	kg	10.738	部材数:2個
	TCB M22x65(S10T)	本	8	

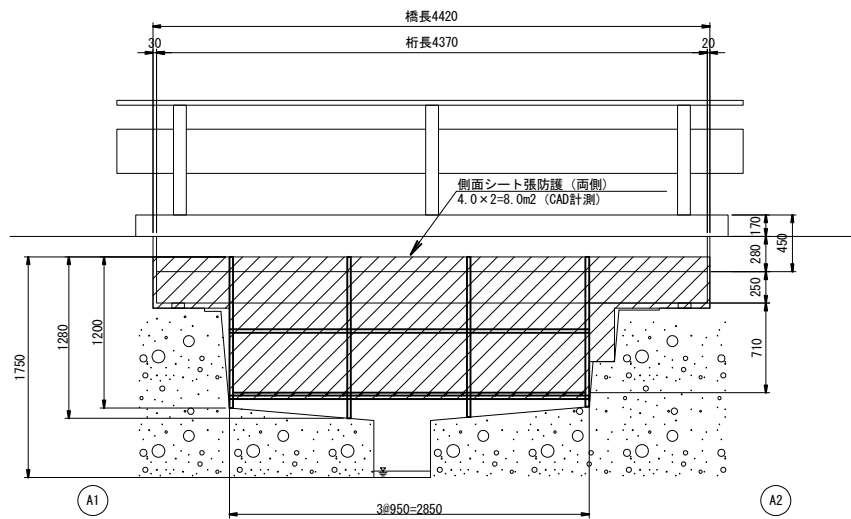
旧水道管撤去工 数量表 (1橋当り)

細 別	規 格	単 位	数 量	摘 要
水道管撤去	φ165.5	m	4.420	w=0.088t

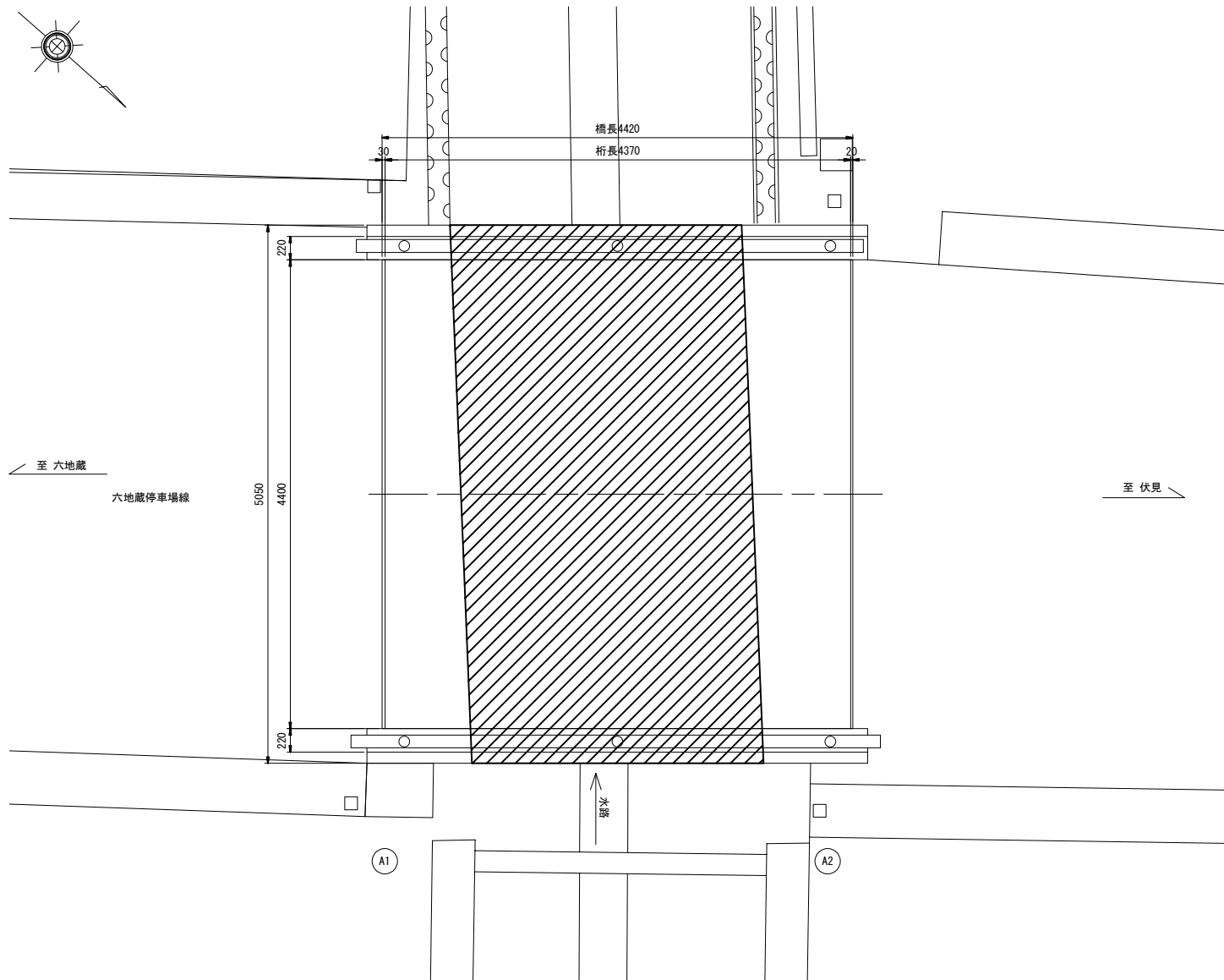
細 別	内 訳	規 格	単位	数 量	摘 要
無収縮材外注工	無収縮材外	1875kg/m ³ (太平洋ブルー・ロック同等品以上)	m ³	0.037	
現場孔明工		水平向き、φ16孔、t=7.5mm	箇所	12	
鋼材	鉄筋	D13、SD345	t	0.011	
型枠材	一般型枠	一般型枠、小型構造物	m ²	0.912	
目地工	目地板	遅青緑縦質板、t=10+20mm	m ²	0.213	型枠背面側
シール工	緩衝材	クロー・シール・シート (片面粘着剤付)、t=5mm	m ²	0.216	既設添架物側

見附橋 足場工図（参考図）

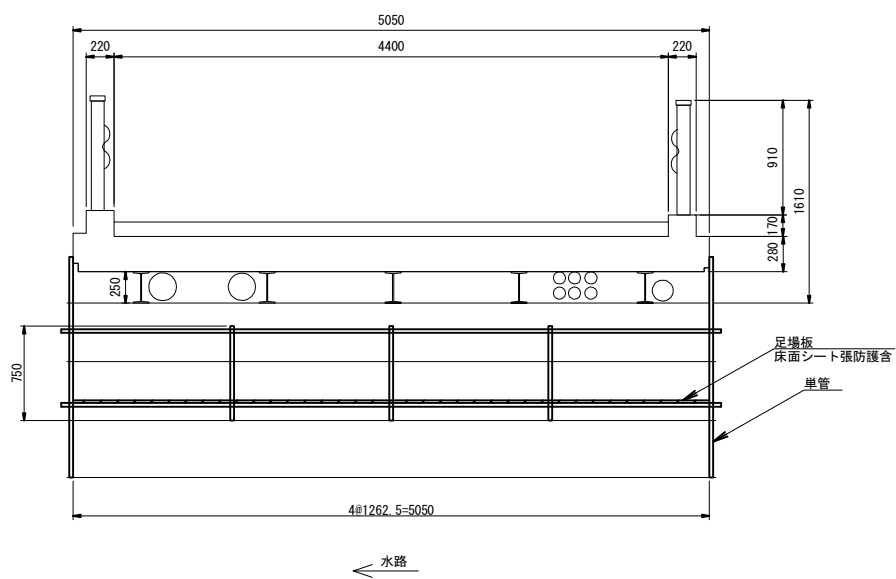
側面図



平面図



断面図



足場工数量表

細 別	単位	数量	備 考
桁下作業用ステージ足場	m2	14.4	2.85×5.05=14.4m2

注） 1. 床面シート張防護および床面・側面シート張防護（鉛粉塵対策用）も含む
2. 鉛粉塵の飛散防止のため、作業ステージ四方（床面・側面）を養生シート等で完全に囲い込むこと。
3. シートの縫ぎ目や橋梁構造物との隙間は、粘着テープ等を用いて隙間なく密閉すること。

工 事 名	藤ノ森橋他2橋補工事		
工事場所	京都市伏見区直達橋南1丁目他地内		
図 面 名	見附橋 足場工図 (参考図)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	1:30	図面番号	25 / 25
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			